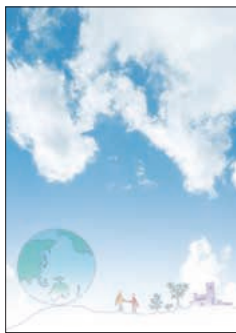


CSR報告書

2008





表紙の言葉

空を見上げるとそこにはあたり前のように雲があります。わたしたちが暮らしているこの地球環境で、これまであたり前だと思っていたことがあたり前でなくなりつつあります。

1本の糸でつながった、地球と多種多様な命。わたしたちはそれぞれの共存共栄を目指した持続可能な社会の実現に向け、社会に貢献できるよう努めてまいります。

GUNZE

グンゼ株式会社

大阪本社 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目8番17号大阪第一生命ビル

お問い合わせ先:CSR推進室

TEL.06-6348-4817 FAX.06-6348-4823

URL : <http://www.gunze.co.jp>

- 01 …… 編集にあたって
- 02 …… グンゼのCSR
- 03 …… トップメッセージ

▶ ハイライト

- 05 …… 事業を通して社会に貢献するグンゼ

〈3つの事業におけるCSR活動レポート〉

- 07 …… アパレル事業
- 08 …… 機能ソリューション事業
- 09 …… ライフクリエイイト事業
- 10 …… 2007年度トピックス

■ CSRの取り組み

- 11 …… グンゼの「是」とCSR経営
- 13 …… ステークホルダーから信頼される企業であるために
- 15 …… ステークホルダーからの信頼向上を目指して

■ 社会性報告

- 17 …… 消費者のために
- 19 …… 従業員との関係において
- 21 …… 取引先との関係において
- 22 …… 株主・投資家のために
- 23 …… 地域社会のために

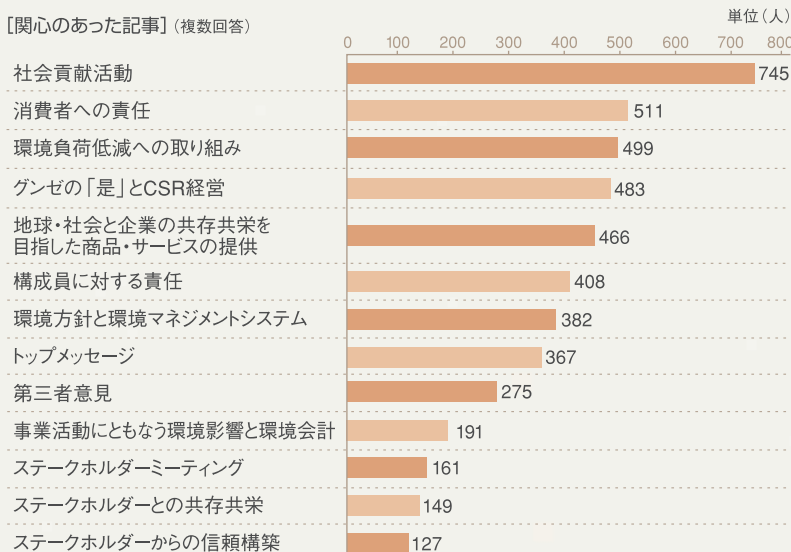
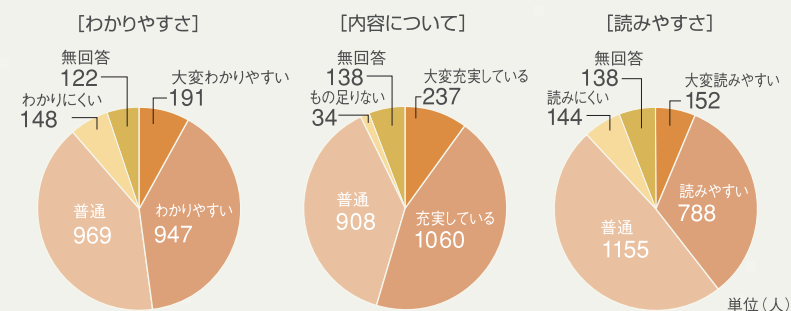
■ 環境報告 (地球環境のために)

- 25 …… 環境方針と環境マネジメントシステム
- 27 …… 事業活動にともなう環境影響と環境会計
- 29 …… 環境負荷低減への取り組み
- 33 …… 第三者意見
- 34 …… 会社概要
- 35 …… パフォーマンスデータ集
- 36 …… 用語集

編集にあたって

- 本報告書はグンゼグループのCSR活動の取り組み内容を開示し、ステークホルダーの皆さまからご意見をいただき、より一層の取り組み向上につなげることを目的に発行しています。
- 実績データは2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)分を記載していますが、活動内容は一部上記期間以前もしくは以後のものを含んでいます。
- 対象範囲はグンゼ株式会社と国内外の子会社(非連結含む60社)を対象にしています。
- 作成にあたってはGRI(Global Reporting Initiative 第三版)を参考にしています。
- 2007年度にいただいた以下のアンケート結果をもとに、幅広い読者の皆さまにCSRの取り組みをよりご理解いただけるよう心がけました。

報告書アンケート結果:2,377名から回答をいただきました。ありがとうございました。



- 本報告書はグンゼホームページでもご覧いただけます。(2008年7月掲載予定)

URL <http://www.gunze.co.jp/>

◆ CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略。企業の社会的責任と訳されます。「グンゼのCSR」はP2を参照ください。



“地球・社会と企業”の持続的发展を目指し、
創業の精神を^{たていと}経糸に、
社会からの期待に「誠意」をもって
柔軟に^{よこいと}応えることを緯糸に、
社会に貢献いたします。

※経糸と緯糸について

織物は経糸と緯糸で構成されます。経糸は織物の端から端まで縦につながり、基本となる糸です。
緯糸は経糸にからまって織物の柄を形成する糸です。よい織物には節など一切ない優良糸が経糸として選ばれます。
日本の大半の製糸家は大量生産に重点を置いていましたが、
創業者の波多野鶴吉はあくまでも経糸として選ばれる「精良優美な優良品」の生産を貫きました。
当社の社歌には♪経糸緯糸ひと筋乱れず綾部に結ぶグンゼあり♪という一節があります。
創業の精神は決して変えてはならない当社の経糸となるものです。

よこいと
≫ 緯糸とは

社会からの期待に応え、
積極的に進化させるもの

- 経営戦略
- 事業内容
- 生産システム
- 商品・サービスなど

たていと
≫ 経糸とは

変えてはならないもの

- 創業の精神
- 三つの章句、三つの躰
- 社是
- グンゼ行動規範



代表取締役社長
平田 弘



グンゼグループは事業活動を



代表取締役社長
平田 弘

> グンゼグループのCSR

グンゼは1896年の創業以来、「人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐる全ての関係者との共存共栄を図る」ことを経営理念として、事業活動を行ってきました。消費者、取引先、地域社会、構成員、株主などのステークホルダーからの期待に事業活動を通じ誠意を持ってお応えすることで、地球環境・社会との持続的発展を図りながらお客さま満足と企業価値の向上を目指すこと、これがわたしたちの社会的責任と考えています。

創業の精神を経糸としながら、環境や社会の価値観・ルールの変化に迅速・的確に対応するために、2004年にCSR推進室を設置するとともに、グンゼグループのCSR推進・統括責任者としてのチーフCSRオフィサーを選任して、組織・運営体制を確立し、CSR活動強化のための教育・研修や実践活動、リスク対応や法令遵守のための諸活動に取り組んでまいりました。

2008年度から3年間の中期経営計画「SHINKA 3S」がスタートしました。新しい商品・技術や市場・顧客の創造を目指す「新化」、何故を追求しながら技術向上や取引先との取り組みを強化するための「深化」、環境変化に迅速に対応するために自らの改革に挑戦する「進化」の3つのSHINKAと、Solution、Speed、Satisfactionの三つのSをキーワードとして、グンゼグループの「真価」向上に取り組んでいます。

グンゼグループのCSRもまた、「SHINKA 3S」の考え方を基本に、更なる充実を目指します。地球温暖化等の環境問題、少子高齢化や地域との連携強化・活性化への積極参加など、事業活動を通じて社会問題のソリューションに少しでも役立つための取り組みを強化し、出来ることから着実に実行していきたいと考えています。

> 「不進不存」とグンゼグループの事業活動

創業者の波多野鶴吉は出身地である京都府何鹿郡（現：綾部市）の人々の貧困を解決するためには、地場産業であった蚕糸業の育成・強化を通じて地域振興を図ることを「郡」の方針（是）にすべきであるとの情熱に燃え、「郡是製絲株式会社」を設立しました。



通じて社会貢献を強化します。

創業から112年、祖業の生糸事業は終息しましたが、その技術・品質はしっかり受け継いでいます。

皆さまに信頼・評価いただいているインナーウェアやストッキングなどの「アパレル」事業、アパレルの包装材料からスタートしたプラスチックフィルム、カラーコピー機などのOA機器に使用されるエンジニアリングプラスチック、タッチパネル、そして医療材料などの「機能ソリューション」事業、また、工場跡地の活用からスタートしたショッピングセンターやスポーツクラブなどの「ライフクリエイト」事業を展開しています。

今後も各事業において、安全・安心・快適な製品・サービスの提供を通じて皆さまに支持され、社会に必要不可欠な会社であり続けたいと考えています。

「最も強いものではなく、最も賢いものでもなく、変化にもっとも敏感に対応できたものが生き残れる」というダーウィンの言葉は、生物の世界だけではなく、企業においても真理であると考えます。時代や社会構造の変化、価値観の多様化などに的確に対応し、お客さま満足と企業価値の向上を実現するためには、自らが進化し続ける必要があります。

特に昨今、企業を取り巻く環境変化はスピードが早くなり、企業に対する要求・期待も高まっています。前進・進歩・進化しなければ企業も存在できない、という意識を構成員に徹底するために「不進不存」という言葉を掲げて、たゆまない事業改革と持続的発展に向けた努力を積み重ねていきたいと思います。

> 創業の精神と経営倫理

事業活動を行ううえで、わたしが最も重要だと考えているのは、創業の精神と経営倫理です。「志と倫理」のない企業にステークホルダーからの支持と持続的発展は期待できません。

「志と倫理」を高く持つことが、企業の品格、社会からの信用・信頼を高め、企業の持続的発展を図るためには不可欠な条件と考えますが、その実践と徹底はたやすいことではないと思います。グンゼグループの品格を高めていくために、今後強化していきたいことが三つあります。一つは昔からグンゼが従業員教育の基本としてきた「誠意・愛情・謙虚」の「三つの章句※1」を今後も

徹底すること。二つ目は「公正・公平・公開」の原則をグンゼの企業体質として、さらに強化すること。そして三つ目は経営倫理実践研究センター※2が主導している「効率性・競争性原理」と「人間性・社会性原理」のバランスのとれた成長・拡大を目指す企業風土の構築です。

いずれもゴールのない永遠の課題ですが、構成員一人ひとり、それぞれの職場、そしてグンゼグループ全体の意識と仕組みを改革しながら、一歩ずつ前進・進歩・進化してまいります。



CSR報告書2008は、グンゼグループが取り組んできたCSRの活動を、目標未達や問題点も含めて、出来るだけ分かりやすく読者の皆さまにお伝えしたいと考えて作成しています。ぜひご高覧いただき、忌憚のないご意見を頂くことで、CSR活動を「進化」させ、「グンゼの真価」を高めてまいりたいと思っておりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※1 「誠意・愛情・謙虚」の「三つの章句」について、詳しくはP11をご覧ください。

※2 経営倫理実践研究センター
Business Ethics Research Center (BERC)

設立年月日 1997年11月13日、会員数 維持会員9社
賛助会員97社(2007年9月末現在)

グンゼはBERCの賛助会員です。



事業を通して 社会に貢献するGunze

天然素材100%の生糸事業から、綿100%のメリヤス肌着へ。

そして、これまで培ってきた技術を活かし、さまざまな事業が育っています。

わたしたちは、人々の暮らしを支える三つの事業を展開し、「安全・安心・快適」をキーワードに社会に貢献しています。

＞地球と人にやさしい製品で安心・快適・満足をお届けします。

アパレル事業(消費財)

APPAREL

環境

人に
やさしい

衣服内の温度・湿度を快適に
コントロールする素材
Warm Balance®



●YG-X
(ワイジーエックス)

＜メンズ&キッズカンパニー、レディス&レッグカンパニー＞



●CFA100
(シーファー100)

環境

1994年、Gunzeが日本で初めてペ
ットボトルから衣料品を開発し誕生
した、REPET®
制服、Tシャツなどのほか、マイバ
グ運動の推進にも貢献しています。

＜メンズ&キッズカンパニー＞



●REPET®素材でできた
エコバッグ



●Tuche stylish Biz
＜レディス&レッグカンパニー＞

人に
やさしい

着やすく、脱ぎやすい
着替えらくらく肌着



●着替えらくらく肌着
＜メンズ&キッズカンパニー＞

環境

人に
やさしい

通気性、涼しさ、UV対策に加え、
特殊素材だから伝線しにくく
安心長持ちのストッキング



➤ 身近な生活のなかに、グンゼの技が生きています。

機能ソリューション事業（生産財）

FUNCTIONAL SOLUTIONS

環境

大事な中身の品質を保持しながら
環境に配慮したプラスチックフィルム



ミシン目に注目！

はがしやすいからすぐリサイクル！
分別回収にはかせない機能です。

ココに注目！

プラスチックトレイのごみがでない！
フィルムだけでデリケートな中身を保持。
しかも袋が曇らず中身がすっきり見えます。

●プラスチックフィルム

＜プラスチックカンパニー＞

環境

グンゼの高機能プラスチック
製品は、OA機器、産業機械
からレジャー用品まで、幅広い
用途で活躍し、省エネルギー
に貢献しています。



＜エンブラ事業部＞

●各種高機能プラスチック製品

環境

軽量・コンパクト・耐衝撃性、低
消費電力を追求した、タフタッチ
パネル

＜電子部品事業部＞

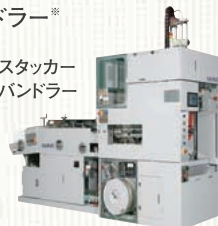


●タフタッチ
パネル

環境

停止原因を徹底検証し、
稼働率の改善を図った
省電力のスタッカーバン
ドラー*

●スタッカー
バンドラー



※スタッカーバンドラーとは、印刷物の
紙揃えから結束までの一連の作業
を自動で行う省力機です。

＜SOZ事業本部＞

人に
やさしい

下腿の血流を促進する
医療用ストッキング
レッグサイエンス



●レッグ
サイエンス

＜メディカル材料センター＞

➤ 健康増進や省エネ事業などを通して地球と人の未来を支えます。

ライフクリエイト事業（サービス）

LIFESTYLE CREATIONS

人に
やさしい

地域の皆さまを元
気にするスポーツプ
ログラムを提供



●グンゼスポーツ

＜グンゼスポーツ株式会社＞

環境

省エネ対策に有効な
ESCO事業*や、ヒーター
に取り付けて放熱ロス
を抑え、省エネに貢献
する断熱エコカバー

※ESCO事業

エナジー・サービス・カンパニー（Energy
Service Company）の頭文字を取って「エ
スコ」と読む。ビルや工場などの建物の省
エネ化に必要な「技術」「設備」「人財」「資
金」など全てを包括的に提供するサービス。



●断熱エコカバー

＜グンゼエンジニアリング株式会社＞

環境

大気汚染物質の一つ、NOxや、地球温暖化
の原因CO₂の吸収能力が高い、環境浄化木
エコザクラ*（ヒマラヤザクラ）



※エコザクラはグンゼ（株）の
登録商標です。

●エコザクラ

＜グンゼグリーン株式会社＞

地域
貢献

源泉掛け流しの本格的なスーパー銭湯は、
人々のいやしと地域のコミュニティに貢献



●天然温泉「湯の華廊」

＜株式会社
つかしんタウンクリエイト＞



ケース1: アパレル事業 | APPAREL

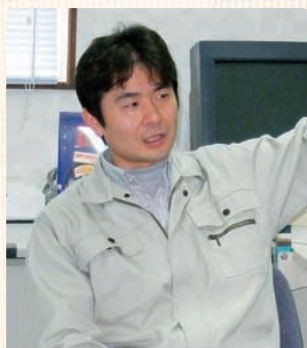
安心で快適、そして地球にもやさしい、未来を見据えた肌着づくり。

1947年に生産が始まったメリヤス肌着。分業が主流の時代に一貫生産方式を採用。品質の高さが評価され、主力事業へと成長しました。初代事業部長 岩内菊治郎が唱えた「品質第一」をモットーとした「私達の伝統（※ページ下部MEMO参照）」をしっかりと受け継ぎ、優良品の提供に努めてまいりました。その中から、2007年にデビューした紳士肌着「THE GUNZE」を紹介します。



THE GUNZEは東北グンゼ(株)で製造しています。

人と環境にやさしい肌着を追及、これまで世の中になかった製品「THE GUNZE」が誕生



〈研究開発センター〉
平野 昌一

「人と環境にいい製品とは?今一番求められているものは?」を追及した末に出た答えが「品質も着心地も長持ちする肌着こそ、環境にもやさしい肌着」でした。そこで、『綿』そのものの性能向上に着目。『肌着を買い替える理由:第1位 黄ばみ』という消費者の声をヒントに、まずは“汚れをはじく綿”の研究に着手したのですが、着心地と両立できずに断念。発想を変え、新たに“汚れが落ちやすい綿”という観点で研究を重ねた結果、分子レベルで綿を改質することに成功。「水だけで汗や皮脂汚れを落とし、白さ・着心地も長持ち」、世の中になかった製品「THE GUNZE」が誕生しました。

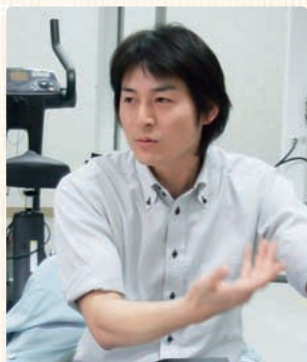
商品 綿を極める。
特長 NEXTRA-COTTON/ネクストラコットン

綿本来の性能(吸水性)を高めつつ、さらに新たな機能(消臭性・汚れ落ち性)を付加した、グンゼオリジナル技術により生まれた綿。それが【NEXTRA-COTTON/ネクストラコットン】です。汚れ落ち性能に優れているため、水だけで洗濯しても一般品の洗剤使用と同レベルの汚れ落ちを確保。洗剤を使用すればさらに優れた洗浄効果を示します。



水だけで汚れが落ちる実験
〈研究開発センター〉
由井 美也

部署の枠を超えた「チームTHE GUNZE」、心ひとつにして製品化に奔走



〈メンズ&キッズカンパニー〉
渡辺 征之

綿の改質には成功しましたが、その後、実際の製造にいたるまでには、品質や納期、コストなど多くの課題が続出。無我夢中でしたが、研究・商品開発・製造・営業がお互いの役割をきちんと果たし、「チームTHE GUNZE」として真剣に向き合ってきたからこそ、多くの課題も乗り越えられたと思います。THE GUNZEには、グンゼの永年にわたる肌着づくりの技術とノウハウが凝縮されています。

▶ 今後に向けて

今後はさらに、原料や製造段階から環境配慮を考える

製造工程で地球環境に負荷がかかることは避けられません。少しでも環境負荷を減らすため、今後は、THE GUNZEの技術を肌着だけではなく多様な製品に展開することはもちろん、もっと人と地球の未来に焦点をあて、原料や製造段階から地球環境にこだわった製品をより多く世の中に送り出し、社会に貢献していきたいと思っています。

MEMO 変わらず受け継ぐ「私達の伝統」

「良いものを作る、品質に徹する、何故を深く掘り下げる、早いのが馳走、きれいにする」(初代メリヤス事業部長 岩内菊治郎)この言葉には、「この一枚で永久の顧客を獲得する」という良いものづくりの信念や商品開発の基本など、今も受け継がれる大事な指針が込められています。また、「早いのが馳走」は、デリバリーはもちろん、情報伝達にも通じます。「きれいにする」は、そうじに限らず、会社の体質自体クリーンであれ、ということにつながると考えています。

綿を極める。NEXTRA-COTTON/ネクストラコットンの特長についてはTHE GUNZE専用サイトに詳しく紹介させていただいております。

URL:<http://www.the-gunze.com/>

ケース2:機能ソリューション事業 | FUNCTIONAL SOLUTIONS

生糸事業で築いた技術を 医療・健康分野に活かしたい。

医療用縫糸糸の開発を第一目標に、機能ソリューション事業の一つとして誕生したメディカル材料センター。国内外で順調に売上を伸ばし、最近では、再生医療の新製品、「人工硬膜」を開発するなど、注目されています。主力製品の中から人工真皮「ペルナック」を紹介します。



人工真皮「ペルナック」

メディカル材料センターの主要製品

「製品の誕生を心待ちにしている人がいる」 夢中で開発に取り組む



〈メディカル材料センター〉
所長 森田 真一郎

京都大学 篠義人教授（現・奈良県立医科大学教授／当社技術顧問）の呼びかけでスタートした人工真皮の商品化計画。当時私は入社したばかりでしたが、上司の指示で京都大学に行ったところ、篠教授から水を吸った『麩』のような物体を渡され、「このままでは運べないし、商品になりません。君が何とかしなさい。」と言われました。それが研究の始まりです。品質を保ちつつ凍結乾燥させる技術の開発は失敗の連続。思い通りのやわらかさに仕上げるまで夢中で開発に取り組んだことをとても覚えています。「娘の大事なところに痣があります。この人工皮膚で何とかして欲しい」。臨床試験が始まった頃にこんな手紙が届きました。手紙に綴られた親御さんの切実な願い、「この商品が世の中の役に立てる！期待して待っていてくれる方がいるんだ！」と心の底から実感。感慨無量でした。

※人工真皮とは・・・

コラーゲンスポンジを内層とし、シリコンフィルムを外層とする2層性の人工真皮（真皮欠損用グラフト）。骨、筋、腱などの露出する重度皮膚欠損創において真皮組織を再建する医療材料です。

生産過程の見直しを繰り返し、 品質確保に努める



〈メディカル材料センター〉
マテリアル製造課 伊藤 賢治

人工真皮「ペルナック」は非常にデリケートな製品のため、生産工程ではわずかなほこりなども品質を左右します。設備の完備はもちろん、念入りの掃除でクリーン度を保つことも品質確保の決め手のひとつです。試行錯誤し生産工程の改善を積み上げながら、一つひとつ心を込めて作っています。

▶ 今後に向けて 世界各地に展開を広げ、 より多くの患者の救命に役立ちたい



〈メディカル材料センター〉
営業開発課 義積 仁

現在、「ペルナック」は日本と中国・韓国で販売されています。主に、重いやけど、事故等による皮膚の損傷、皮膚がんなどの腫瘍切除後に使用。わたしたち営業開発課は、救急事故などにより人工真皮が大量に必要な際にも、製品を即座に供給し対応します。患者の救命に役立てるこの製品のすごさと、販売するやりがいを日々感じています。今後はアジアのみならず、EU、北中南米エリアでの展開も計画しており人工真皮（神秘？）のすばらしさを世界に発信していくつもりです。

▶ 専門家のご意見

「ペルナック」に期待すること

ペルナックを用いることによって、深い傷を早くきれいに治すことが可能になりました。ただし使い方を誤ると効果が得られませんので、世界中の外科系の医師に正しい使い方を知っていただき、治療に役立てて欲しいと思います。また、ペルナックは傷を治すだけでなく再生医療の足場材料としての働きも期待できます。



京都大学 医学博士
鈴木 茂彦教授

MEMO

「メディカル材料センター」概要

生体吸収性材料を主体とする特長ある医療機器を生産・販売。生体適合性に優れた合成高分子や豚由来のコラーゲンを材料とし、医療機器の開発に取り組んでいます。売上の約40%を海外が占め、今後も一層の海外展開を目指しています。

ケース3:ライフクリエイト事業 | LIFESTYLE CREATIONS



地域の皆さまに、 健康な毎日をお届けする。

「快適性の追究」の思いを生活の中に活かしたいと、健康志向を追い風に誕生した「スポーツビジネス」。1985年にグンゼスポーツ1号店がオープンし、20年以上が経ちました。人々の豊かな心と体を育み、人々の幸せを支援する優良なサービスに努めてきたグンゼスポーツの取り組みを紹介します。



グンゼスポーツクラブ



ジュニアスクール「スイミング教室」

「グンゼスポーツ」の名称に込められた、創業の思い



〈グンゼスポーツ〉

社長 櫻井 康夫

塚口から始まったグンゼスポーツは、今や全国18店舗を展開するまでに拡大。「グンゼスポーツクラブ」という名前には、『「郡」の「是」という創業の精神を受け継ぐ』、『塚口にグンゼという名を残したい』という思いが込められています。幾度の荒波をかぶりながらも、20年以上継続してこれたのは、グンゼの創業の精神を経系に、スポーツ事業を通じて地域社会に貢献することを目指した結果であり、皆さまから変わらぬ信頼をいただけているからにほかならないと考えています。

オンリーワンクラブとして 地域性豊かなクラブづくりを展開



〈営業統括部〉

公共エリアマネージャー 竹内 俊文

多様な人々の健康促進を目指す「グンゼスポーツクラブ」は、地元に着目し、特色あるプログラムづくりを展開しています。ご高齢の方を始め、障がいをお持ちの方、お子さまなどの多様なニーズに対応する「ちゃんとした運動をしよう」プログラムを提供。また、スポーツ科学研究所による運動効果の分析など、確かなデータに裏付けられた最新のメディカルサポートにも対応。近年は、厚生労働省のガイドラインに沿った「はじめてのメタボCare」を各店で展開しています。

▶ 今後に向けて

グンゼ創業の精神を基礎とした従業員教育を徹底、地域の方に信頼されるクラブであり続けたい



〈営業統括部〉

近畿エリアマネージャー 大井 富美代

スポーツプログラムの開発とともに、トレーナーの人財育成も担当しています。13年間関わってきた三宮店の閉鎖の直後に人財育成担当の辞令が出たのですが、店舗を閉鎖に追い込んだわたしには無理と、一度は退職の意向を伝えました。しかし、上司から「閉鎖という経験をしたあなたにしか伝えられないことがある。」という言葉をかけていただき、その言葉がわたしの転機となりました。経営のあり方やお店が地域に果たすべき役割を本当の意味で考え・実践するきっかけになったと思います。

人財育成で一番大事にしていることは、「創業の精神」「三つの章句」「三つの躰」の伝承です。グンゼスポーツのインストラクターにこれらを

スポーツプログラムの開発とともに、トレーナーの人財育成も担当しています。13年間関わってきた三宮店の閉鎖の直後に人財育成担当の辞令が出た

理解・実践させ、一人ひとりのニーズに合ったプログラムを展開し、これからも地域の方の信頼向上に努めていきたいと思っています。



フィットネス・カウンセリング



スタジオプログラム「ヨガ&ピラティス・フュージョン」

MEMO 「総合商業施設(つかしん)構想」

ショッピングセンター、文化交流、健康支援、自然とふれあえる広場などを配した街づくりを目指し、塚口工場跡地の開発計画として始動した「総合商業施設構想」。後、1985年の「つかしん(塚口の新しい街「塚新」)」開業と同時にグンゼスポーツ1号店はオープンしました。

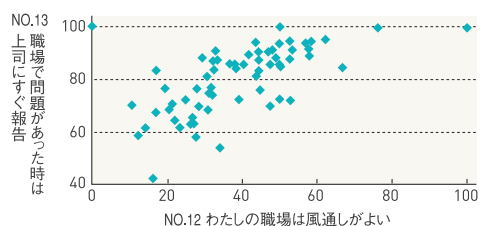
職場の風通し改善が最重要事項

ゲンゼではいわゆる「PDCA」のC（Check:問題発見）から始める、CAP-DOサイクルをまわしています。CSR推進活動では、CSRアンケートがこの「C」にあたります。このCSRアンケートの分析から、「職場の風通し」はさまざまな問題が発生するリスクばかりでなく、働きがいや誇りとも相関があるという結果となりました。そこで、CSR委員会では、

「どうしたら職場の風通しがよくなるか」について討議し、部門CSR責任者会議では、大阪大学大学院青江秀史教授に講師をお願いし、「職場の風通し改善」をテーマに討議いたしました。今後は部門CSR委員会において実践、展開をしてまいります。

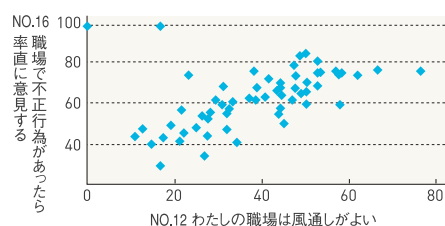
≫ CSRアンケート分析結果より → その他の分析結果をP16に掲載しております。

◆ 風通しと上司への報告相関



「風通しがよい」と「問題発生時の通報」について相関がみられ、職場の風通しをよくすれば、悪い情報も迅速に上司にあがってきやすくなる!

◆ 風通しと不正行為の報告相関



1 全社CSR委員会討議内容より抜粋

風通しの改善のためには何をしたらよいのか? (抜粋)

- 失敗を怒らず、解決策と一緒に考えること（失敗を怒ると、次からの報告があがってこず、結果的に風通しが悪くなる）
- 言いっぱなし、聞きっぱなしにせず、最後まで対応すること
- キーパーソンに業務が集中すると、結果的にコミュニケーションが不足する。戦略的な業務分担と適正な人員配置
- 情報開示、情報共有化
- 時間を惜しまず、メールのみでなく、対面でのコミュニケーションの場を多くし、上司から近づくこと
- 名前の呼び方など人によって差別をしない
- 意見・質問などにすぐに反応する
- グループでの業務を推進する
- よくやったときはほめる
- 多様な立場の構成員がコミュニケーションを図る機会を増やす

職場の風通しをよくするために上司に求めること、部下に求めることについて (抜粋)

① 上司に求めること

- 進んで挨拶をする、まず聴く、失敗を責めない
- 決定事項を正確に、明確に、具体的に伝わるまで、伝える
- 適正な評価をする
- 部下の意見具申を抑えない
- よく忍耐する

② 部下に求めること

- 参加意識を持つこと、意見を率直に言うこと、失敗を恐れないこと、悪い報告からすること



全社CSR委員会：経営幹部討議状況 風通しのための上司の役割、部下の役割とは？

2 部門CSR責任者会議 (青江教授による職場の風通し改善講演から)



大阪大学大学院 青江秀史 教授



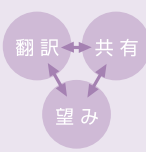
風通しの悪い原因は？

討議テーマ

- あなたは、誰のどのような言葉が心に残っていますか？
- あなたは、自分のどのような言葉が部下の心に残っていると思いますか？
- 「不進不存」をどう翻訳して職場に伝えていきますか？

風通しの極意：情報の共有化

- 多様な価値観がうまく職場で、お互いの望み（情報）を共有するため、「翻訳」して伝えること
- 各人の役割を明確にすること
- 役割の理由をよく理解し、実践すること
- 誠実な言葉で伝えること
- 自ら「風」をおこすこと!



実施アンケートから抜粋 (その他意見はDATA参照)

- 部下と上司との翻訳はとても役に立った。
- 「風通し」は仕事の基本だが、最も難しい。情報の共有化を進め改善努力したい。
- CSRは日ごろ意識していてもそれでも不十分になりがち。あらためて気づきの機会を得ることができ、有意義であった。
- 風通しについては日ごろから対応している「つもり」であった。今回教えていただいたことをあらためて参考にしたい。
- 日常のコミュニケーション、情報共有化には努めているが、この風通しという言葉を意識して諸々のリスクが発生しないよう、心がけたい。
- ほめ言葉の大切さを再認識した。



ゲンゼにどんな新しい風をおこすか？

グンゼは創業の精神を^{たていと}経糸に、ステークホルダーからの期待に誠意をもって応え、信頼関係を築きます。

グンゼCSRの原点

創業者・波多野鶴吉は京都府何鹿郡（現在の綾部市）の地場産業であった蚕糸業の振興を通じて、地域社会との持続可能な共存共栄を図ろうと、1896年（明治29年）、「郡是製絲株式会社」を興しました。社名の「郡是」とは、この『「何鹿「郡」の「是」（方針）』

に由来し、創業者の強い思いが込められています。消費者、取引先、地域社会、構成員、株主からの期待に事業活動で誠実にお応えし、地球環境・社会との持続的発展を目指す。それは、わたしたちの社会的責任そのものです。



執務中の創業者 波多野鶴吉

— 三つの章句 —

誠意

一所懸命、これが誠意である。
小事をおろそかにしない。
表裏がない。遅怠がない。
間断がない。約束を違えない。
責任感も勇気もこれより出で、
知恵もここから生まれる。
成功の基礎である。

愛情

思いやりの心である。
相手の身になって考える。
非礼を行わない。よく忍待する。
知恵はここから出で、
人を生かし、事を生かし、
物を生かす。

謙虚

己を空しうして、
他から学ぼうとする
精神である。
進歩の母体である。
競争は、きのうの我とする。

— 三つの躰^{※1} —

あいさつ
をする

はきもの
をそろえる

そうじ
をする

— 社 是 —

1. 優良品の提供に徹し社会に貢献する
1. 誠意をつくり信頼の輪をひろげる
1. 若さと創意をいかし世界の一流をめざす

— グンゼ行動規範 —

- 第1章 グンゼは、企業活動を通じて社会貢献に努め、企業市民としての責任を果たします。
- 第2章 グンゼは、世界に通じる公正なルールにのっとり活動します。
- 第3章 私たちは、なにごとにも積極果敢に挑戦するとともに、良識をもって行動します。



CCSRO 柴本 博司

CSR基本方針

企業理念、社是、グンゼ行動規範を経糸に、
取り巻くすべての利害関係者からの要請・期待に
敏感に、柔軟に、誠意をもって応え、
公正で誠実な企業活動を推進し、
地球・社会と企業の持続的発展を目指し、
社会的責任を果たします。



消費者のために

常に消費者の立場に立って考え、優良な商品・サービスの提供に徹し、“売って喜び買って喜ぶ”を実践する。
品質を第一義に、安全、安心、快適、満足を追求し、環境と人にやさしい製品、サービスの開発、提供で持続可能な社会の実現のために努力する。

➡➡➡ P17~18へ



従業員との関係において

雇用および処遇における差別を行わず、機会の均等を図る。
事業活動に関わる全ての人の人権を尊重し、強制労働・児童労働は行わない。
従業員が、適材適所、多様性を発揮できる能力開発を推進し、社会に貢献できる人財を育成する。
従業員が自らの意思により労働組合を結成する結社の自由および集団で交渉する権利を法律で禁止されていない限り尊重する。

➡➡➡ P19~20へ



取引先との関係において

共存共栄の実現を目指す。
独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を順守し、公正かつ自由な取引を行う。
公正さを疑われるような贈答や接待をしたり、受けたりしない。
雇用における差別禁止、強制労働の禁止、児童労働の禁止を求める。

➡➡➡ P21へ



株主・投資家のために

CSR推進を通じ企業の信頼を高める。
企業情報を積極的かつ公正に開示し、その信頼に応える。

➡➡➡ P22へ



地域社会のために

積極的に社会、地域活動に参加し、社会との友好な関係を築き、地球・社会との持続可能性を目指す。

➡➡➡ P23~24へ



地球環境のために

事業活動の全過程において地球環境保護、CO₂削減に積極的に取り組む。
事業活動を通じた環境配慮型製品・サービスの提供を通じて、環境にやさしい社会の実現に貢献する。

➡➡➡ P25~32へ

CSR活動の概要

5つの重点項目を設定し、
取り組みを推進しました。

一人ひとりがよくCSRを理解し、事業活動を通じた社会貢献を
実践できるよう、CSRアンケート結果より、重点実施事項を定め、
展開いたしました。

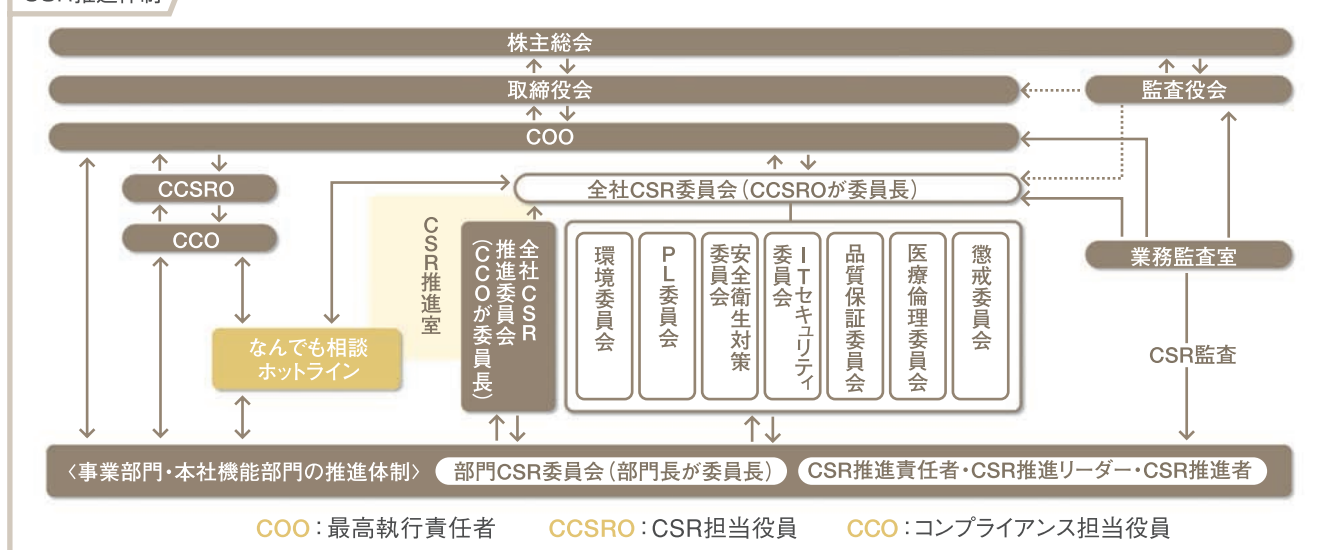
2007年度CSR推進重点実施項目

- ① 人権啓発活動を推進する
- ② 内部統制の強化を図る
- ③ ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に図る
- ④ 社会貢献活動を推進する
- ⑤ 環境経営を積極的に推進する

コーポレートガバナンス体制と
内部統制システムを強化する。

- 下請取引適正化マニュアル（2007.2）
- CSR規程、全社CSR委員会規約の制定（2007.4）
- リスク管理規程の制定（2007.4）
- コンプライアンス規程の制定（2007.4）
- 営業秘密管理基本規程の制定（2007.4）
- 情報開示規程の制定（2007.4）
- 品質保証委員会規約の制定（2007.4）
- 災害対策マニュアルの改定（2007.6）
- 内部統制実施基準の制定（2007.10）

CSR推進体制



TOPICS

CSR活動優良事業表彰

◆ 表彰の考え方

評価項目	指標	配点
1. 労災ほか	事故件数	15点
2. 障がい者雇用	法定雇用率	5点
3. 人権啓発活動	人権・ハラスメント研修会開催	5点
4. CSR自主監査結果	CSRアンケート	10点
	CSR自主点検結果	10点
5. 地域社会への貢献活動	内容、件数または延べ参加時間等を考慮	5点
小計		50点

評価項目	指標	配点
6. CO ₂ 削減	売上原単位対前年実績比	5点
7. 廃棄物発生量	売上原単位前年比	5点
8. リサイクル	リサイクル率実績	5点
9. 用水使用量	売上原単位前年比	2点
10. 低公害車	低公害車数/保有車両数	3点
11. 環境マネジメントシステム運用（総点検・自主監査結果）	自主監査および自主点検	10点
小計		30点
12. ストロングポイント	特にすぐれたCSR推進活動をピックアップする	20点
合計		100点

1位 エンプラ事業部
江南工場

コジェネ^{*1}（都市ガス利用）の導入と排熱の有効活用によるCO₂の削減（売上原単位で8.4%改善）

地域の環境展に参加し、環境配慮型製品・サービスの活動を広く地域社会に紹介

2位 プラスチックカンパニー
守山工場

省エネ・廃棄物削減活動
CO₂の削減活動（売上原単位で6.1%改善）
労働災害・交通災害防止活動等により、災害ゼロを実現
人権啓発活動を積極的に推進

人権尊重の職場づくり

人権問題に関する 基本的な考え方

わたしたちはILO（国際労働機関）が定める基本的な労働基準を遵守し、創業の精神である「人間尊重」が従業員一人ひとりの実践につながるよう、人権啓発を行い、人権尊重に基づき行動します。

公正採用選考の宣言

グンゼグループは従業員の採用選考にあたって、応募者の基本的な人権を尊重し公正な採用選考を実施します。応募者の適性・能力のみを選考基準とし、人種、民族、社会的身分、門地、本籍、出生地等社会的差別の原因となるおそれのある事項および思想・信条、労働組合への加入状況等の個人情報を収集することはいたしません。

相談体制を整備し、 職場環境の改善に活かしています。

「なんでも相談ホットライン（公益通報者等窓口）」「ハラスメント相談窓口」「個人情報相談窓口」をCSR推進室に設置し、基本的人権に配慮し、対応しています。また、労使による中央ハラスメント相談窓口会を年2回開き、相談内容の把握（相談内容の内訳はDATA参照）と防止対策等について協議しています。



中央ハラスメント相談窓口会

社内・社外にて、 さまざまな人権啓発活動に取り組んでいます。

グンゼグループは、「大阪同和・人権問題企業連絡会」等の会員企業として、さまざまな差別を解消するために、「人権を尊重する企業」を目指しています。社内では、同和問題やセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント防止を中心に、研修を実施し、社外人権セミナーにも積極的に参加しています。「部落解放・人権夏期講座」（於：高野山）には、毎年受講者を派遣し、2007年度は25名が参加しました。



宇都宮物流センターにおける、ハラスメント防止講座

人権週間の取り組みとして、 人権標語の募集を行っています。

人権問題を身近な課題として一人ひとりが意識することを目的とし、人権週間（12月4日～12月10日）の取り組みの一環として、人権標語の募集を行っています。

2007年度 人権標語入選作品

●最優秀作品（1点）

「ありがとう」 心を繋ぐ 合い言葉（須藤 美香）

●優秀作品（5点）

身に付けよう 相手の立場に立つ ゆとり（山崎 博）

考えよう相手の気持ち 見直そう自分の行動（由良 文美子）

気付いてね 小さなサイン 心の叫び（佐藤 貴子）

「誰かいる？」 私がいるのに なぜ聞くの！（稲垣 博美）

あなたがくれたやさしい笑顔 私も誰かにプレゼント（仲井 幸子）

外国人研修生・技能実習生の受入れを 適正に行う努力をしています。

研修計画の履行状況や非実務研修の実施の徹底はもちろん、人権に配慮した受入れを行っています。

外国人研修生・技能実習生の受入れ状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
事業場数	6	5	6	7
外国人研修生	30人	20人	32人	39人
外国人技能実習生	0人	16人	16人	16人

VOICE!

研修担当者の声

「三つの躰」は全ての基本です。

福知山アパレル（有）ではグンゼグループの関係会社や技術提携をしている中国の企業から、現在研修生7名、技能実習生7名を受け入れています。遠く故郷を離れ、慣れない生活が続くなか、「あいさつをする、はきものをそろえる、そうじをする」のグンゼの「三つの躰」は生きています。また、毎週地元の日中友好協会事務局長を講師に日本語教室を開催。従業員有志に浴衣を着せてもらって、地域の夏祭りに一緒に参加するなど文化交流も図っています。



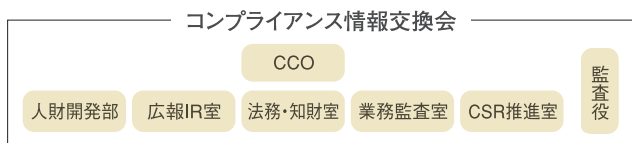
日本語教室の様子

福知山アパレル（有） 武井 良文

内部統制の強化

コンプライアンス情報交換会で、事業リスクにつながる課題の改善に努めました。

コンプライアンス情報交換会を月1回開催し、事業リスクにつながる課題について対応を協議しています。協議結果は、全社CSR委員会等で共有するとともに、各部門CSR会議において事例に基づく討議など再発防止教育を行っています。2007年度は43件(前年56件)のコンプライアンス情報交換会
コンプライアンス情報交換会
コンプライアンス関連事例を取り扱いました。



2007年度に協議した主な課題と対応

▶製品・サービスに対するクレーム関連

店頭回収につながるクレームが5件、PL法に関わるリスクが4件、不適切な表示など、重大なクレームが10件発生。国内生産する肌着については、今後トレーサビリティ(生産履歴の追跡)関連の情報を開示してまいります。

▶情報セキュリティリスク関連

会社貸与の携帯電話の紛失が3件、デジタルビデオカメラの紛失が1件発生。いずれも二次被害には発展していませんが、アンケート等で実態を把握し、各部門でのセキュリティ強化対策を図りました。

▶火災事故の発生

いずれもぼやではありましたが、5件発生。設備・装置の不断の安全点検・管理マニュアルの見直し、徹底を図りました。

▶構成員のモラル関連

構成員のモラルに起因する交通事故が2件、法令違反が1件発生。各部門におけるCSR研修会のなかでリスクの事例に基づいた討議を行い、倫理観の向上に努めました。

災害発生時の構成員行動基準の周知・徹底を図りました。

グンゼグループ災害対策マニュアルに基づき「災害発生時の行動基準カード」を作成し、安否確認ルートおよび災害時の行動基準について啓発し、現地災害対策訓練の実施とあわせた運用を図りました。また、中央災害対策本部災害対策シミュレーションを実施し、役割の明確化と訓練による標準の見直しを行いました。

情報漏えい対策の強化に努めました。

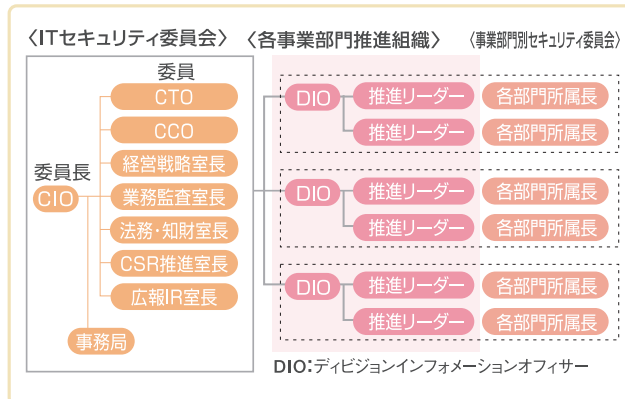
IT資産を適切に保護するため、ITセキュリティ委員会において方針を協議し、部門別セキュリティ委員会で運用しています。2007年度は、規程の周知徹底、情報漏えい対策の強化、セキュリティ違反監視システムの導入およびウィルス対策や不正アクセス、情報漏えい対策に努めました。

▶ITセキュリティに関する規程

ITセキュリティ方針
全体基本方針
(2006年4月)

ITセキュリティ対策標準
方針を実行するための標準書
(2006年4月)

ITセキュリティガイドライン
Q&Aや図表を加え、対策標準の内容をより具体的にしたもの
(2006年4月)

▶ITセキュリティ運用組織^{*1}

社外ステークホルダーとのコミュニケーション

グンゼのCSR推進活動について意見交換を行いました。

「グンゼCSR報告書」を活用し、CSR推進活動等について意見交換を行い、皆さまから率直なご意見をいただきました。今後のCSR推進活動に活かしてまいります。

協働先	月	場所	対象
立教大学大学院21世紀社会デザイン科	10	東京	ゼミ研究生・学生ほか 43名
明治学院大学社会学部	12	東京	学生 約80名
財団法人 関西生産性本部 人材開発研究会	12	大阪	企業担当者
内閣府(公益通報シンポジウム パネリスト)	1	名古屋	一般
富山商船高等学校国際流通学科	3	大阪	学生 14名



於:立教大学 太刀川記念館

CSR推進活動の実際

「企業倫理月間」の取り組み

グンゼグループは毎年10月を「企業倫理月間」と定め企業倫理の徹底推進を図り、ステークホルダーからの信頼向上に努めています。

企業倫理月間スローガン

「風通しのよい職場 つくる勇気が グンゼの倫理」

具体的実施内容

- ① 経営幹部対象セミナーの実施
「独禁法と企業倫理」、「知的財産経営の現状」
- ② 「全社CSR委員会」の開催
- ③ 2007年度 全社CSRアンケートの実施
中央ハラスメント相談窓口対策会議実施
- ④ 部門別推進事項
(1) 部門CSR委員会の実施
(2) 事業場重点実施事項に基づくCSR推進計画の展開と、CSR関連講座の実施

CSRアンケートの実施と対策

アンケート結果は、自由意見を含め、各層CSR推進体制へフィードバックし、対策を講じています。

	2005年度	2006年度	2007年度
回収	5,744人	6,008人	6,334人
配布	7,903人	8,058人	7,778人
回収率	73%	75%	81%

CSRアンケートから見えてくるもの

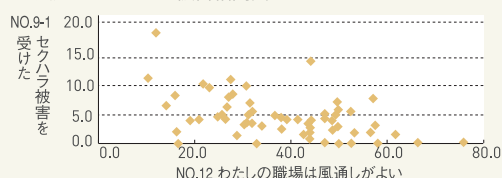
「職場の風通し」と各リスク発生の関係

「風通し」と「問題発生時の通報」とに相関関係あり(相関図はP10、前年比較はDATA1参照)→風通しが悪いと、悪い情報が上に伝わらず、大きな問題に発展!

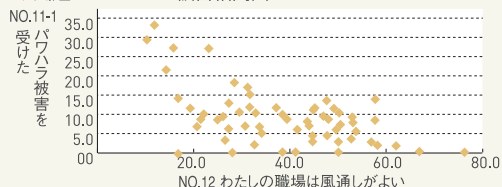
風通しとハラスメント被害の相関

風通しの悪い部門は、ハラスメントが生じやすい傾向がある。実際のハラスメント相談にいたるケース(なんでも相談51件、セクハラ5件:詳しくはDATA2参照)は氷山の一角であり、職場で問題が潜在していることがうかがえる。対前年でセクハラは1.3ポイント改善したが、パワハラは1.2ポイント増加。(前年比較はDATA3参照)

風通しとセクハラ被害相関図



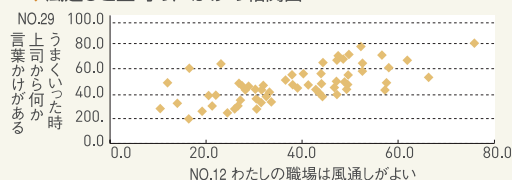
風通しとパワハラ被害相関図



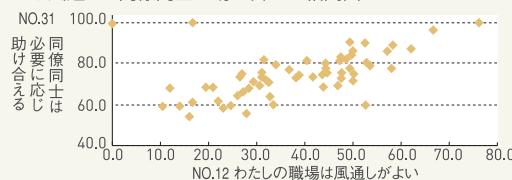
上司、同僚との協力関係と風通しの相関

上司や同僚からの協力関係が得られる職場は風通しがよいという相関が見られ、前年度比較では上司からの声かけが8.7ポイント、同僚同士の助け合いは5.6ポイントと、いずれの項目も改善。(前年比較はDATA4参照)

風通しと上司の声かけの相関図



風通しと同僚同士の助け合いの相関図



風通しがよい職場は、相互の協力関係もよい。適正な労働時間管理や、各ハラスメントから生じる問題解決にもつながる。

風通しのよい職場風土の醸成に努める。

CSRアンケート結果に基づく課題対策

CSRアンケート結果に基づき、全社CSR委員会、部門CSR責任者会議、CSR推進リーダー会議において課題を協議し、重点実施事項を決め各部門で展開。



CSR講座(東海支社)

重点実施事項展開事例

風通し改善

→ コミュニケーションスキルアップ講座、CSRアンケート結果のグループ討議など

ハラスメント対策

→ セクシュアルハラスメント防止、パワーハラスメント防止、ジェンダーについての討議など

情報セキュリティ対策の推進

→ DIO、推進リーダーへの啓発、アンケート実施と対策など

社会貢献活動の推進

→ グンゼアース倶楽部支援先との連携事業の推進、実施内容の共有化など

VOICE!

CSR研修会参加者の声

CSR実践のために、
日々の心がけが大切だと感じました。

CSR研修を通して、我々一人ひとり、また企業全体として、消費者や地球環境など企業を取り巻く全てのステークホルダーに何をしていくべきなのかということの日頃から考え、実行していくことが重要であると感じました。

東海支社 メンズ&キッズカンパニー 販売課
美甘 一則





消費者の皆さまの目線で安心・安全・快適を追求し、信頼と満足の上昇に努めます。

消費者の信頼と満足度を高める取り組み

製品安全基本方針

安全はすべてに優先することを基本として、お客様に安心して使っていただける商品を製造し、提供する。

品質を第一に、お客様の声を活かし、製品やサービスの向上を推進。

「品質第一」の視点で製品やサービスを通じて社会に貢献するという経営理念のもと、消費者からいただいた情報を社内にフィードバックし、共有化を図るとともに商品企画や商品の改善に活かしています。2007年度お客様相談室へのお問い合わせのうち、77%が売場・商品などに関するものでした。19%がクレーム・お叱り、4%が商品改善提案でした。

VOICE!

お客様相談室担当者の声

お客さまにより安心・信頼していただくために。

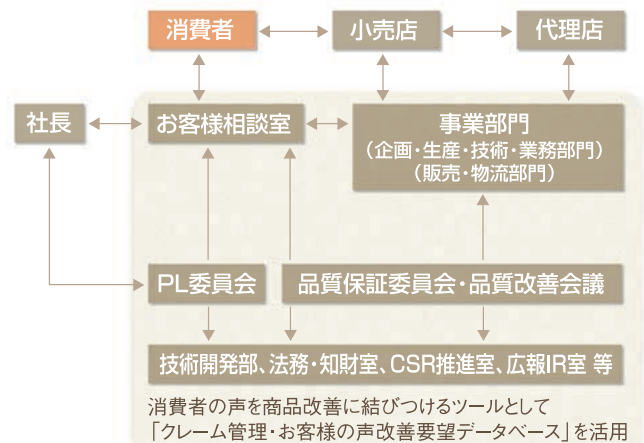
お客様相談室では、年間24,000件にのぼるお客さまからのお問い合わせを電話・メール・お手紙などで受付けています。2006年度に新しい受電システムを導入し、今まで72%程度であった接続率（フリーダイヤルにつながる率）が約93%までにアップしました。また、2007年度にはお客さまの声を従来より多く蓄積・分析できるシステムを導入し、その結果、お客さまからの声を社内関連部門に連絡し、商品や表示の改善に迅速に結びつけることができました。今後、わたしたちはお客さまの声に耳を傾け何を望んでいらっしゃるのかの理解を一番に考え、お客さまからの信頼や安心感をより一層向上させていけるような窓口を目指します。



お客様相談室 室長 吉村 幹雄

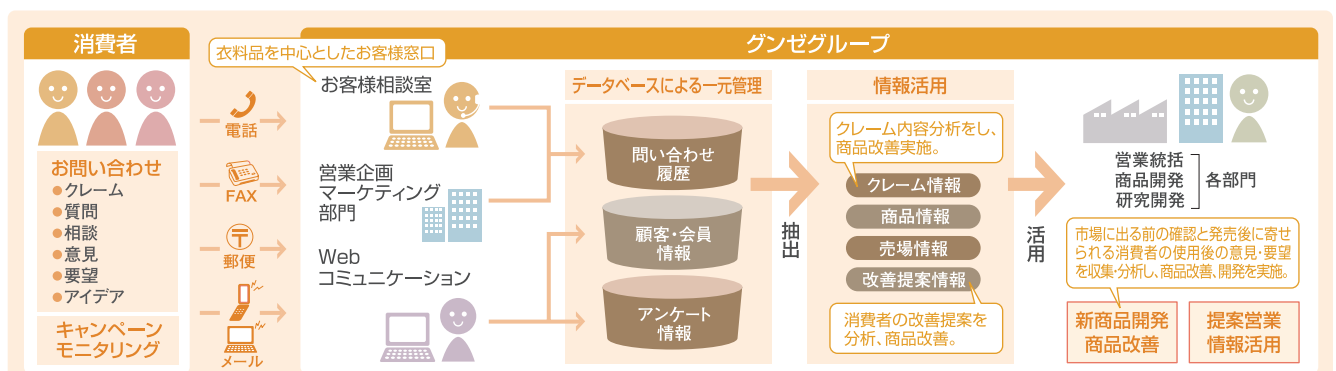
お客様相談室

消費者の信頼と満足度を高める仕組み



- 消費者指摘事項に対しては
お客様相談室と事業部門消費者窓口が迅速に対応
- 安全性確保に対しては
品質保証委員会…安全性・表示妥当性の上市事前審査
PL委員会…PL管理体制の構築と教育、問題早期処理と再発防止対応
- 品質管理活動に対しては
品質保証委員会と事業部門、工場の品質管理部門が連携し、安全性・品質保証活動を推進
- 商品改善に対しては
品質改善会議…お客様相談室の消費者情報を取り入れた商品改善取り組み

消費者の生の声を事業活動に活かすCRM^{*1}概要



▶ 消費者の声を活かした具体的な取り組み

情報を部門にフィードバックし、共有化を図り、商品の改善や売場構築に活かしています。

商品改善事例

お客さまからいただいた改善要望を受け、商品の設計改善を実施しています。

着用快適性向上のために

- サイズ仕様についてのご意見 >>> **着ごこちゆったりへ**
- えりマークがチクチクする >>> **生地プリントすることで、首のチクチク感がなくなりました**



改善前: えりマークがチクチクすることがある

>>>



改善後: えりマーク内容を生地プリント

身体的ハンディをお持ちの方のために

着脱を容易にする肌着、義足の方のパンツなど個別にお応えしています。



気管切開手術をし、喉に管を入れた障がいを持つ子のため、前開きのシャツを作って欲しい



子どもが手術をする予定なので半袖と長袖の前開きのシャツが欲しい

ボタンでなく、プラスチックホックで前開き仕様に

前開き仕様に

[その他ご意見].....

片足が義足で、パンツをはくと左右の色が合わない。何とかして欲しい。

>>> **パンツ左右の色濃度を調整して対応**

車椅子生活を送っているが、トランクスの前開きが下まであれば1人で用がたせる。

>>> **試作を重ね、仕様を決定**

さまざまなご意見をお聞かせいただくなか、対応できることには限りがありますが、少しでも皆さまのお役に立てれば幸いです。

売場構築事例

健康な高齢者の方のライフスタイルを支援する「グンゼ健康支援工房」

グンゼ健康支援工房は、いつまでも健康で、いきいきと毎日の生活を送りたい、そんな高齢者の方に、「ここへ行けば肌着のみでなく、衣類から靴、杖といった必要なものがそろそろ」と思っただけで、楽しい売り場を目指しています。

ご高齢者からさまざまなご意見、アイデア、そして試着協力をいただくなか、高齢者が着脱しやすいよう、生地や素材に工夫を凝らした肌着開発に努めています。



衣料や靴、杖など、高齢者向けの商品をそろえた売り場展開

VOICE!

「グンゼ健康支援工房」開発者の声

便利で楽しい売り場づくりを目指します。

試着の際、縦横無尽に伸びる肌着に、驚きの声があがったり、「これは着やすい!」と実際に言っていたときは、本当にうれしくなります。
売り場にお越しいただいた皆さまに、「また来たい!」と思っていただけるよう、便利で楽しい売り場を目指しています。

メンズ&キッズカンパニー
営業統括課
新規チャネル開拓推進室 室長
徳永 和彦



消費者からの期待にお応えするために

▶ 法改正に伴う対応

消費生活用製品安全法改正(2007年5月14日)に伴い、対応ガイドラインを作成し事故および再発防止体制を整備いたしました。

▶ 適正表示について

従来から「適正表示」に努めてまいりましたが、市場に出る前の新商品表示について、妥当性確認の仕組みを強化し、担当者への法令教育や、知的財産権の教育などを通じ、信頼構築に努めています。

「消費者の期待に応えつづけるグンゼ」を目指し、適正表示はもちろん、商品の安全性、品質を何よりも第一優先に皆さまからの信頼に応えてまいります。



一人ひとりが健康に働き、達成感を味わえる “イキイキ・ワクワク職場”づくりを目指します。

活力ある職場環境に向けての取り組み

構成員の能力向上のため、 多様な人財育成策を整備・強化。

3つの「SHINKA」※1を実現させる人財※2の育成のため、人間力・専門力・管理力の向上に向けた研修体系の整備・強化、OJTの再活性化、事業のグローバル化に対応した能力開発体系の確立等の施策を継続して推進しています。また、評価・処遇制度や人財配置（ローテーション、キャリア形成）との連動を強化することにより、人財育成の仕組みの総合的な進化と人財の活性化を図っていきます。

全社意識改革運動として 「SMILE（スマイル）next」を展開。

製品やビジネスモデルの革新・改革を進めていく基盤として、構成員一人ひとりの意識改革を推進するため、2006年度から全社意識改革運動「SMILE（スマイル）」を展開しています。2008年度からは「SMILE next」として活動を「新化、深化、進化」させ、“イキイキ・ワクワク職場”づくりを図っていきます。

- S**peed キビキビとした動き
- M**anner 気持ちのよいあいさつ
- I**dentify グンゼのよき伝統を受け継ぐ
- L**ead 自分から一歩前へ出る
- E**nergy 大きな声で元気よく



あいさつ運動の様子（守山工場）

自らキャリア設計できる 「社内公募制度」を実施。

意欲的な人財を発掘し、適財適所を実現することにより、人財の有効活用、職場の活性化を図ることを主な目的として、「社内公募制度」を実施しています。これまでに社内公募によって異動した者は、自主的なキャリア形成が実現したことで、さらに意欲を高めて業務に取り組んでいます。

勤続10年目、25年目の構成員を対象とした 「リフレッシュイヤー制度」を新設。

2006年度から、「リフレッシュイヤー制度」として、勤続10年と25年の節目の年に、連続した有給休暇を取得することにより、心身をリフレッシュし、将来に向けた一層の意欲向上を図る仕組みを導入しています。対象者は、休暇を夫婦や家族での国内外の旅行等に活用し、再び元気一杯に仕事に取り組んでいます。

上司や会社との相互理解を深める 「自己申告制度」を年1回実施。

毎年1回、上司や会社に対して自分の担当職務の意見や希望、意欲を表明したり、人事諸制度などに対する意見や希望、個人的な事情を伝える「自己申告制度」を実施しています。自己申告書に記入した内容については、上司との面接の機会に、さらに十分に話し合い、指導、アドバイスを受ける仕組みにしています。

適財適所の人事配置のための 「希望職務登録制度」。

これまでの経験や知識、技術を活かし、今後取り組んでみたい職務、職種や具体的な部署を登録できる仕組み（希望職務登録制度）を「自己申告書」の中に設けています。登録された希望職務は、本社で集約し、全社的な適財適所の人事配置を推進するための情報として、有効に活用されています。

性別や年齢などによる区別をなくし、 多様な人財の採用・登用を推進。

グンゼ（株）単体および連結の従業員数

	グンゼ（株）単体 在籍者			連結 在籍者 合計
	男 性	女 性	合 計	
2006年3月31日現在	1,610人	788人	2,398人	8,336人
2007年3月31日現在	1,572人	735人	2,307人	8,413人
2008年3月31日現在	1,553人	726人	2,279人	8,470人

▶障がい者雇用の拡大

全部門での法定雇用率達成を目標に雇用推進を図り、昨年度に引き続き、今年度も、法定雇用率（1.8%）を上回る1.84%という結果となりました。今後も、経営指標の重要項目の一つとして位置づけ、全部門での法定雇用率達成を目指します。

グンゼグループの障がい者雇用率

	%
2006年3月31日現在	1.72
2007年3月31日現在	1.92
2008年3月31日現在	1.84

ワークライフバランス制度の整備、 仕事と家庭の両立支援。

男女がともに仕事と家庭の両立を図ることができる支援制度を目指しています。現在、一般事業主行動計画に基づき、育児・介護支援制度の整備（2008年4月から育児の短時間勤務を子が小学1年の1学期まで利用可能な制度に改定）、週1回のノー残業デーの設定等、労使協働による仕事と家庭の両立支援に取り組んでいます。

育児・介護支援制度の取得状況

	2005年度	2006年度	2007年度
育児休職取得者	43人	52人	52人
育児の短時間勤務利用者	9人	10人	12人
子どもの看護休暇取得者	11人	8人	9人
介護休職取得者	2人	1人	2人
介護の短時間勤務利用者	0人	1人	1人

VOICE! 育児休職取得者の声

仕事と育児、両立できることに感謝します。

長女を出産した2005年に育児休職の期間が延長となり、おかげさまで娘が1歳10ヶ月になるまで共に過ごし、保育園へも無事入園、現在は短時間勤務制度を利用しています。仕事・育児・家事をバランスよく効率よく進めるため、計画を立て、工夫を重ねていくのも楽しみの一つです。でも時には急な病気の時など計画通りにいかず「子どもへの心配」と「目の前の仕事」との葛藤に引き裂かれることも。「今は人生の中で希少な時間」と自分に言い聞かせ、周囲の皆さまのお力を借りて乗り切っています。復職して、子どもと過ごす時間は少なくなりましたが、そのかわり密度の濃い時間となり、楽しさが倍増しています。また、親以外の大人やたくさんの仲間と関わり合うことで、子どもが驚くほど成長していることも感じています。

これからも周りの皆さまの温かさ、思いやりに感謝し、働き続けていきたいと思っています。

(株)グンゼオフィスサービス
井上 絵美子



経営の重要なパートナーとして、 労働組合とのコミュニケーションを積極的に推進。

グンゼは、労働組合を経営の重要なパートナーとして、定期的な経営協議会、労使研究委員会、従業員満足度調査等を通じて、経営状況や各種課題の共有化を図り、労使一体となって活力あふれる職場づくりに取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

構成員の安全と健康を最優先に考えた 安全衛生水準の維持・向上。

安全衛生方針に基づき、中央安全衛生対策委員会（本社・労働組合本部で構成）と各事業場の安全衛生委員会が協働して、年間計画に基づいた安全衛生管理活動を行っています。

グンゼ安全衛生方針

創業の精神である「人間尊重」の理念のもと、従業員の安全と健康を守ることが、経営の基盤であり、企業としての社会的責任であることを認識し、従業員が安全で健康に働ける快適な職場環境を実現するための活動^{*1}を積極的に推進します。

労働災害・交通災害の低減に向けた 取り組み(安全活動)の推進。

(各災害の発生状況はDATA 1 参照)

▶労働災害の低減に向けた取り組み

各事業場での労働災害防止の積極的な取り組みにより、労働災害件数は減少傾向にあります。「個々の災害発生原因の究明と公表による類似災害の再発防止」・「日常の自主点検活動の強化」・「安全教育の推進」および「中央安全衛生対策委員会、安全衛生委員会による事業場巡視の実施」によりゼロ災職場の実現を目指しています。

▶交通災害の低減に向けた取り組み

社用車の運転者、自動車通勤者を対象とした運転適性診断や地元警察署の協力による交通安全講習を実施しています。また、自動車通勤者の多い事業場では、定期的に通勤時の立ち番指導を行い、シートベルト着用の確認、安全運転の啓発を行っています。交通安全講習



健康づくりに向けた取り組み(衛生活動)の推進。

▶健康管理活動

海外出向者を含めた構成員全員の健康診断と健診結果に基づく健康指導を実施しています。各事業場では、衛生講話や健康教室の開催により、従業員の健康管理意識の啓発を図っています。



健康教室



衛生講話

▶メンタルヘルス対策

従業員とその家族のケアのために外部機関を利用した「心の電話相談」を設置しています（グンゼ健康保険組合と協働：相談件数はDATA 2 参照）。また、専門家による管理職・人事労務担当者向けの研修を定期的に開催しメンタルヘルスの基礎知識およびメンタルヘルス不全対応について普及を図っています。

メンタルヘルス対策の開催回数と受講者数

	開催回数	受講者数
2006年度実績	17回	403人
2007年度実績	20回	366人



メンタルヘルス研修



共存共栄をモットーに公正・公平な関係を構築し お取引先さまとともにCSRを推進します。

公正・公平な関係構築と対話

健全なパートナーシップを築くべく、 サプライヤー^{※1}と意見交換を行いました。

グンゼグループは1000社を超えるサプライヤーの皆さまとの連携で、事業活動を展開しています。

2006年度サプライヤーの皆さまへ実施したCSRアンケートに基づき、明らかになった課題への対策のため、意見交換会を行うとともに、サプライヤー行動規範についてご説明しました。

特に人権に関する配慮や品質向上については、ピックアップしたサプライヤー20社と課題を協議しました。

2008年度はアンケート項目を充実させ、実施いたします。

サプライヤー20社と協議した内容

- コンプライアンスリスクについての説明
- サプライヤー行動規範遵守の依頼
- 品質改善、PLクレーム防止活動について

経営幹部対象 独占禁止法セミナーを実施しました。

多様なステークホルダーからのより一層の信頼向上と、公正・公平な取引による相互の共存共栄を図るため、「独占禁止法と企業倫理」セミナーを実施し、経営幹部57名が受講いたしました。



柴本CCSRO講話



独占禁止法について学ぶ

グンゼグループサプライヤー行動規範^{※2}

グンゼグループは、「グンゼ行動規範」において、世界に通じる公正なルールに則り活動することを基本方針としています。

サプライヤー各位がこの行動規範の示す、法令の順守、有用かつ安全な製品・サービスの開発・提供、環境への取り組み、人権・人格・個性の尊重に関する基本方針に賛同されることを期待しています。

▶法令順守について

- ・社会のルールを順守し、公正かつ自由な競争の中で企業活動を行う
- ・法令を順守し、常に高い倫理観をもち、反社会的行為は行わない
- ・国際ルールを順守し、関係各国の文化、慣習を尊重し、信頼される企業活動を行う

▶優良品の提供について

- ・企業活動を通じて社会に有用、かつ安全な製品・サービスを開発、提供する

▶環境保全について

- ・企業活動にあたって、環境問題に積極的に取り組み、地球との共存に努める

▶人権について

- ・人権・人格・個性を尊重し、人種・国籍・性別等による雇用と職業に関する差別を行わない
- ・児童労働、強制労働、過酷な懲罰等の非人道的な労働行為を行わない
- ・従業員が自らの意思により労働組合を結成する結社の自由および集団で交渉する権利を、法律で禁止されていない限り、尊重する

▶労働について

- ・安全で清潔な作業環境を確保し、従業員の健康に配慮する
- ・労働時間に関する法令及び賃金・福利厚生に関する法令を順守する

▶機密情報と知的財産について

- ・取引により知り得た技術、営業、個人等の機密情報の漏洩防止に努めるとともに知的財産を尊重する

▶贈答・接待について

- ・不当な利益等の取得を目的とする贈答・接待を行わない



株主・投資家の皆さまとの理解と信頼づくりのため、 適正な情報開示と利益還元に努めます。

公正・適正な利益還元と情報開示

利益分配に関する 基本方針

グンゼグループは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、連結配当性向30%程度を当面の目安に、中・長期的な業績見通しに基づき、安定的・継続的な利益還元を行ってまいります。

自己株式の取得

多額の投資がある場合を除き、総還元性向100%を目処に機動的な自己株式の取得を行います。

株主還元の充実のために、 株主優待制度を実施しています。

2007年度より株主優待制度を導入しています。

優待	対象
① グンゼ製品の贈呈	9月末時点で1000株以上を保有する株主
② 「ぐんぐん快適通信」 カタログ商品の優待割引	9月末および3月末時点で1000株以上を 保有する株主



積極的なIR活動を展開し、 コミュニケーションを推進しています。

グンゼグループでは、企業情報の開示を重要事項と認識し、適切かつ迅速な情報提供のために担当部署を設置し、積極的に活動しています。情報開示は、各種法令・規則に則り、また適時開示該当以外の案件についても、公平性に留意しつつ、適時・適切に開示しています。

▶ 個人投資家とのコミュニケーション

2008年2月、個人投資家向けイベント(関西地区での個人投資家向け最大級の規模:2日間で2万1千人の来場)に参加しました。



個人投資家向けイベント

▶ IRホームページの充実

グンゼグループでは、株主・投資家の皆さまに、より深くグンゼグループをご理解いただくため、各種IR関連資料をホームページで積極的に開示しております。

● グンゼIRサイト

URL <http://www.gunze.co.jp/ir/index.html>



[主な開示資料]

決算短信(四半期ごと)、有価証券報告書・半期報告書、株主通信(年2回)、CSR報告書(年1回)、決算説明会資料(年2回)、株主総会資料(年1回) など

CSR活動が社外から評価を受け、 SRIファンド^{*1}へ継続採用されました。

グンゼの株式は、CSR推進活動が評価され、次のSRIファンドの構成銘柄に継続して組み入れられています。

- FTSE4 Good インデックス^{*2}シリーズ「英国FTSE社」
- モーニングスター社会的責任投資株価指数
「米国モーニングスター社」

VOICE!

IR担当者の声

迅速・公正な情報開示に 努めています。

IR担当者として、株主・投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを通じて、皆さまの声を経営に反映することが重要と考えています。今後も株主・投資家の皆さまの適正な投資判断に資するよう、より公正・透明かつスピーディな開示に努めてまいります。

広報IR室 安達 卓哉



地域社会貢献活動は ゲンゼ(郡是)の「是」(=よしとすること)のひとつです。

社会貢献活動の実践

社会貢献活動の基本的な考え方

ゲンゼは、創業の精神「人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐるすべての関係者との共存共栄をはかる」のもと、本業を通じた社会貢献を行います。

構成員が一市民として行う社会貢献活動を支援します。

ゲンゼグループの技術・資産・人材を活かした地域社会貢献の推進で、地球・社会との共存共栄を図ります。

社会貢献プロジェクト

「ゲンゼラブアース倶楽部」の取り組み



- ▶ 寄付活動 2007年度は20団体に支援を行いました。
(支援先一覧は [DATA](#) 参照)

▶ 独自協働活動

支援協働先	活動内容	実行部門など
NPO法人JEN	BOOKMAGIC	19部門
NPO法人GEN	使用済み切手・はがきの回収	22部門
NPO法人 スペシャルオリンピックス日本	冬季ナショナルゲーム	東北ゲンゼ(株) 有志
NPO法人NPO人権センター	人権啓発のための紙芝居 (WEB版)を作成	ゲンゼラブアース 倶楽部有志

このほか、NPO法人GENおよびセーブ・ザ・チルドレンより講師を招き、支援先活動報告をいただきました。



WEB紙芝居制作メンバー



NPO法人GEN
高見事務局長



セーブ・ザ・チルドレン
和田様

GUNZE FASHION DESIGN AWARD 2007を開催し、 デザイナーを目指す学生を応援。

デザイナーを目指す学生の創作活動を応援するため、実施しています。

応募総数1,619点のなか、8作品が受賞しました。今後は上海の学生にも募集を拡大し、日中友好に寄与してまいります。



GUNZE FASHION
DESIGN AWARD 2007

ゲンゼ記念館、ゲンゼ博物苑が 近代化産業遺産に認定されました。

経済産業省は昨年11月、幕末から終戦にかけて日本の産業発展に貢献した歴史的な工場跡や港湾、鉱山などを「近代化産業遺産」に認定、綾部市の当社ゲンゼ記念館とゲンゼ博物苑も地域活性化に役立つものとして認定を受けました。



ゲンゼ記念館

海外でも社会貢献を 推進しています。

山東冠世針織有限公司、済南冠世時装有限公司、山東冠世時装加工有限公司は中国東北エリアで発生した記録的な集中豪雨で被災された済南地域の被災者へ、支援物資として肌着5万枚を寄贈しました。



市政府から届いた感謝状

TOPICS

スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・山形へボランティア参加

ゲンゼラブアース倶楽部が支援しているスペシャルオリンピックス日本の2008年冬季大会(会場:山形市内、蔵王)に、有志を募り、東北ゲンゼから31名のボランティアが参加。わたしたちの担当は、アスリートやスタッフへの食事配膳(全国から約1,000名のアスリート(選手)、約3,000人のボランティアが参集)と、春とはいえ、まだ寒い風が吹く駐車場の誘導係でした。アスリートが持っている力を十分発揮するために、たくさんの配慮事項があることを事前準備の会場で伝えられ、普段何気なく使っている言葉がひょっとすると相手を傷つけることがあるかもしれないと、あらためて気づきました。ボランティアの後は、フロアホッケーの応援をしましたが、アス

リートたちのやるぞ!という熱い意気込みと、自分の持てる力を全部使って一杯がんばっている姿に、もう胸がいっぱいになりました。「アスリートたちと自然にふれあい、大会を盛り上げて」という事務局からの依頼もあり、わたし自身、ひそかにアスリートたちは是非ともハイタッチを!と思っていましたが、何となく気後れしてできずじまいだったことが心残りです。



駐車場誘導の様子



東北ゲンゼボランティアスタッフ

東北ゲンゼ(株) 編織課 遠藤 孝吉

*スペシャルオリンピックスは知的障がいのある方たちに日常的なスポーツトレーニングと、その成果を発表する場である競技会を年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

グンゼの事業を活かした地域貢献

子どもたちや保護者のための 「肌着セミナー」を実施しています。

行政や学校の要請に応じ、肌着の基本的な役割から、季節や成長に応じた快適な肌着の着方、服装のTPOなどについて子どもや保護者に伝えるための「肌着セミナー」を実施しています。



養護教諭対象肌着セミナー
(写真提供:教育家庭新聞社様)

「水と緑が共生し豊かな環境を未来につなぐ杜市」 真庭市環境基本計画を協働作成。

岡山県真庭市の呼びかけで、市民の代表と有識者、そして地域の企業の代表が協働で「真庭市環境基本計画」を策定。グンゼも企業の代表メンバーとして真庭市環境市民会議に参画いたしました。



2008年3月に完成した
「基本計画」

「エコプロダクツ2007」に参加し、 グンゼの「エコ」を紹介しました。

環境総合展「エコプロダクツ2007」にて環境に優しい「ものづくり」と「サービスの提供」を「グンゼのエコ」として紹介。『THE GUNZE』を使って「水だけ洗濯」と「消臭」の実験を行い、その優れた機能に驚きの声が上がりました。



「水だけ洗濯」と「消臭」の実験の様子

協賛活動

「福知山マラソン」へ特別協賛し、 地域のスポーツ振興に貢献。

グンゼは京都府福知山市が主催する1万人のランナーの祭典「福知山マラソン」に特別協賛しています。フルマラソンに7,218名、新設の10キロに717名、ファンランに441名が参加。当社グループからは、ランナー40名、給水所のボランティア48名が参加いたしました。



ボランティアスタッフ

第10回

「キャンパスベンチャーグランプリ大阪」へ協賛。

グンゼは関西の学生を対象とした新事業の提案コンテスト「第10回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)大阪」に毎年協賛し、起業家を目指す学生たちを支援しています。

災害支援活動

国内外の大規模災害に対する、 寄付や救援物資などの緊急支援活動。

▶被災者支援活動(2007年度)

① 石川県能登半島沖地震(2007年3月25日発生)

●義援金活動

日本経団連経由 (社)石川県共同募金会へ寄贈
総額 858,020円(構成員:429,010円 会社:429,010円)

●救援物資の提供

「送り先」▶ 輪島市ふれあい健康センター

〈紳士肌着〉長物上下・下書き
各M寸:20枚/L寸:30枚

〈婦人肌着〉長物上下・下書き
各M寸:20枚/L寸:20枚/LL寸:10枚

「送り先」▶ 経団連1%クラブを通じ、現地へ

〈紳士肌着〉長ズボン下:300枚/
上物:150枚/下物:300枚

〈婦人肌着〉上物:420枚/下物:540枚

〈紳士靴下〉100足

〈婦人靴下〉100足

② 新潟県中越沖地震(2007年7月16日発生)

●義援金活動

(社)新潟県共同募金会へ寄贈
総額 1,913,588円(構成員:956,794円 会社:956,794円)

●救援物資の提供

「送り先」▶ 新潟県災害対策本部経由各避難場所

〈紳士肌着〉1,020枚

〈婦人肌着〉1,145枚

③ バングラデシュサイクロン(2007年11月15日発生)

●義援金活動

日本経団連経由 シャプラニールへ寄贈
総額 577,422円(構成員:288,711円 会社:288,711円)

その他、グンゼグループ各事業所においても地域の環境フェスタへ参画したり、地域清掃活動、献血活動、介護施設の訪問など、社会貢献を通じ、地域との共存共栄を図っています。



環境経営は最重要課題。海外事業所も含めたグループ全体で環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、運営しています。

グンゼグループと地球環境

基本的な考え方

1997年6月に制定した「グンゼ環境憲章」を基本に、環境課題や環境負荷低減の目標を定めたアクションプラン(環境行動計画)を策定し、環境マネジメントシステムの構築、環境負荷低減活動に積極的に取り組んでまいりました。

今後も環境会計など環境関連情報の積極的な開示と環境保全効果を高める環境経営に努め、地球との共生を目指します。

グンゼ環境憲章とは

グンゼは祖業である蚕糸業を通じて桑の栽培、養蚕、生糸の生産という自然の恵みのなか、地球、社会との共存共栄を目指してきた歴史があります。

グンゼ環境憲章は将来にわたり自然の循環を大切にして、環境の保全に努め、地球・社会との共存共栄を図り、持続的発展に貢献することを表明したものです。

グンゼ環境憲章

われわれは、かけがえのない地球を次世代、未来へと受け継いでいく責任を深く自覚し、真に豊かで持続可能な発展する地球社会を実現するため、一企業市民として環境問題に積極的に取り組み、環境への負荷の軽減に努め、環境を維持、保全していかなければならない。このため、われわれは、環境に対する社会的責務を認識し、環境問題に取り組むべく、環境基本理念と行動指針を定める。

環境基本理念

われわれは、環境に優れた製品^{*1}の提供を通じて、地球環境と調和し、全てが調和しうる、恵み豊かな地球社会の発展に貢献する。

行動指針

- ① 事業活動の全ての場面において、環境負荷の低減に努める。
- ② 法・条例の遵守はもとより、自主管理基準を設定し、環境管理水準の向上に努める。
- ③ 資源、エネルギーの効率的利用を図り、省資源・省エネルギーを推進する。
- ④ 廃棄物の発生量の低減に努めるとともに、発生した廃棄物の減量化・回収・再利用化を推進する。
- ⑤ 環境に優れた製品の研究開発、および環境負荷を低減する生産技術、環境技術の開発に努める。
- ⑥ 構成員の環境意識の向上を図り、地域社会の一員として環境保全活動に協力、貢献する。
- ⑦ 海外事業の展開において、環境への配慮と環境技術移転に努める。
- ⑧ 万一、事故等による問題が発生した場合には、迅速に環境負荷の最小化に努める。

アクションプラン2007:各年度の目標と2006/07年度の実績

		基準年度 実績値	2006年 実績	2007年 実績	2007年 目標	目標達成 状況	2010年 目標	備 考
CO ₂ 排出量削減 (トン)		98,288 (1990年)	101,250	102,436	94,500	☹	92,390	運輸関係は除いています。
運送エネルギーの削減 (ℓ/トン)		40.0 (2006年)	40.0	39.5	39.6	☺	38.4	原単位で対前年比1.3%改善しました。
廃棄物	総発生量の削減 (トン)	10,234 (2004年)	10,511	10,442	9,485	☹	9,000	対前年よりは削減しましたが 目標達成には足りませんでした。
	排出量の削減 (トン)	5,127 (2004年)	3,812	3,374	4,500	☺	3,000	廃棄物の資源化の促進により 目標を達成しました。
	リサイクル率 (%)	69% (2000年)	98.1%	98.7%	99%	☺	99%	ほぼ目標を達成しました。
用水使用量 (千m ³)		6,021 (2000年)	4,905	5,012	4,800	☹	4,500	用水の再利用等に取り組みましたが、 目標未達に終わりました。
PRTR対象物質 (トン)		385 (2000年)	112	83	225	☺	75	代替品への変換などにより、 計画より前倒しで目標を達成しました。

(注1) 廃棄物の排出量とは事業所から廃棄物として廃棄物処理業者に委託したものをいう(リサイクル品を含む。有価物は除く)。

(注2) 用水使用量(2006年)削減目標から事務所・サービス部門は除く。

(注3) 2010年目標は2008年4月時点のもの。

目標達成状況の自己評価

がんばりました がんばります

ISO14001登録改定／ グンゼスポーツ

今年で5年目になる外部審査があり、審査員より次のコメントがありました。

「こたつで菓子を食べながらテレビを見る生活習慣は体にも悪いし、エネルギーもたくさん消費します。グンゼスポーツに来てもらえれば、健康にもよいし、消費エネルギーも削減できます。これはグンゼスポーツとしての立派なISOの環境テーマとなるのでは。」

メタボ対策が叫ばれている昨今ですが、わたしたちはスポーツ事業を通して“良好な環境づくり”に寄与してまいります。



グンゼスポーツ内卓球コート

愛知県江南市主催の 「環境フェスタ江南2007」に出展しました。

2007年10月27日、28日の2日間にわたって、江南市が主催する「環境フェスタ江南2007」に地元企業として出展。環境フェスタは「みんなで創ろうエコの街“江南”」をテーマに毎年行われているもので、江南工場は昨年に引き続き2回目の出展となりました。昨年冬に発売された「THE GUNZE」の汚れ落ち力実験の実演や、環境浄化木「ヒマラヤザクラ」の苗木の展示販売、エコカバーやREPET®などのエコに関する商品の展示などを行う一方で、肌着やグンゼの製品などに関するクイズ「GUNZE検定」を開催し、多くの来場者にグンゼについて知ってもらう良い機会となりました。



「環境フェスタ江南2007」 於：すいとびあ江南

グリーン購入（事務用品）の購入率が 今年も100%を達成しました。

グリーン購入は事務用品54品目を選定、実施しています。グリーン購入率は2007年度も100%を達成。

コピー用紙の購入基準については、白度の基準を廃止、古紙配合率を見直し、新たにFSC認証の用紙を追加いたしました。

環境監査を実施し、 システム改善・維持に努めています。

各取得事業場において、外部審査と自主的な社内監査を毎年実施し、システムの維持・改善を図っています。社内監査員育成のためのスキルアップ研修では、学んだ知識をもとに他事業所にでかけ、実際に監査を行う実地トレーニングを行っています。



外部審査の様子

▶環境監査から判明した各事例

● 不適合事項の事例

- ・医薬用外劇物を危険物屋内貯蔵所内にポリ容器で保管。当該保管場所に危険物表示がなかった。
- ・目標である「ノー残業デーを徹底する」が未達成であり、是正処置計画書を発行したが、その後の実施がなされていない。

● 改善の機会の事例

- ・ボイラー排水の中和処理を行っているが、適正なpH値の範囲から逸脱した場合の手順を具体的に規定すること。
- ・目標である「業務の改善を通して環境負荷の低減に努める」を推進しているが、環境側面を漏れなく特定し、環境影響評価を行うこと。

● ストロングポイントの事例

- ・請負業者や納入業者の方たちに対して、環境保全のための遵守事項をビジュアルにデザインした、わかりやすい「環境チラシ」を用いていた。
- ・目的・目標及び実行計画書において達成手段が5W1H形式で作成されており、責任者、納期等が明確であった。



地球環境を次世代に引き継ぐために 事業活動にともなう環境への影響を把握し、環境負荷の

環境負荷の全体像

グンゼの事業活動と環境負荷

グンゼの事業活動は消費財、生産財の生産活動からサービス事業など、多岐にわたります。環境に影響を及ぼすものとして、これら事業活動のために必要なエネルギー・資源の消費、およびそれ

にともなって排出される産業廃棄物、二酸化炭素、大気汚染物質、化学物質などがあります。今後も環境負荷の低減に努めるとともに、より環境に配慮した商品やサービスを提供いたします。

〈 〉内は、海外事業所の数値です。

エネルギー(kℓ) (原油換算)	57,011 〈16,226〉
●電 気 (千kWh)	142,060 〈42,116〉
●重 油 (kℓ)	14,535 〈 3,505〉
●灯 油 (kℓ)	163 〈 0〉
●LPGガス(トン)	1,407 〈 114〉
●都市ガス(千m³)	4,413 〈 1,333〉
用 水(千m³)	5,525 〈715〉 ▶P31
●河 川 水	1,050 〈167〉
●市 水	492 〈 97〉
●地 下 水	3,891 〈 43〉
●工業用水	94 〈408〉
化学物質(トン) (PRTR対象物質)	83 ▶P32
主要原材料(トン)	51,582 〈17,336〉
●天然繊維	4,973 〈 4,941〉
●合成繊維	4,383 〈 2,252〉
●樹 脂	34,697 〈 9,304〉
●フィルム	7,205 〈 764〉
●ガ ラ ス	324 〈 75〉
資 材(トン)	4,528 〈 1,986〉
●副 資 材	1,600 〈 227〉
●荷材・包材	2,925 〈 1,759〉
●そ の 他	3 〈 0〉

INPUT [インプット]

投入

調達

GUNZE グループ

[研究開発]



- CO₂排出削減
- 省エネ
- VOC削減
- 大気汚染防止

▶環境会計

環境保全活動の一環として、環境省の「環境会計ガイドライン」に基づき環境会計を公表しています。

2007年度の環境保全コストは、投資が1億4800万円、費用額が11億4900万円。

公害防止としては設備投資は一段落しましたが、地球環境対策(温暖化防止)の投資が増加。

費用額とは人件費や設備運転のための費用が主であり、毎年大きな変動はありません。

▶環境保全コスト(海外含む)

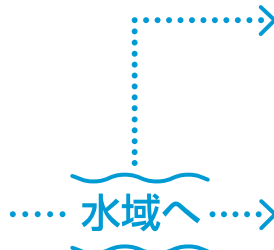
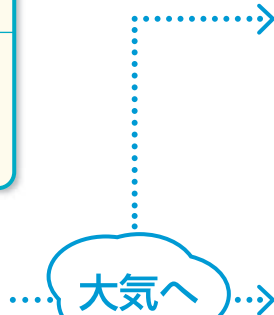
単位:百万円

項 目	2006年度		2007年度	
	投資額	費用額	投資額	費用額
公害防止対策	54	324	24	299
地球環境対策	65	334	108	348
資源循環利用対策	83	227	14	234
上下流コスト	9	37	2	17
管理活動コスト	1	147	—	163
研究開発コスト	2	65	—	36
社会活動コスト	—	14	—	10
その他コスト	—	46	—	42
合計	214	1,194	148	1,149

低減に努めています。

[アウトプット] OUTPUT

製品(トン)	47,369<16,697>
●繊維	9,481<7,352>
●フィルム	30,758<8,663>
●印刷物	6,887<640>
●その他	243<41>
(生産設備は除外)	



CO ₂ 地球温暖化物質	▶P29
CO ₂ 排出量(トン)	103,678<29,319>
●生産からの排出	102,436<28,598>
●社用車からの排出	1,242<721>

大気汚染物質(トン)	▶P29・30
●NOx	92.5<10.3>
●SOx	18.0<15.5>
●ばいじん	2.9<—>

化学物質(PRTA対象物質)(トン)	▶P32
●廃棄物としての移動	8
●環境への排出量	55
水系への排出:5.6 大気への排出:49.9 土壌への排出:0	

水質汚濁物質	▶P31
●廃水量(千m ³)	2,834<205>
●BOD(トン)	10.1<1.0>
●COD(トン)	39.0<3.6>
●SS(トン)	17.4<18.1>

廃棄物総発生量(トン)	10,312<2,130>▶P30
●リサイクル量	10,193<1,469>
●埋立・焼却量	119<661>

▶環境保全にともなう経済効果(海外含む) 単位:百万円

項目	2006年度	2007年度
廃棄物処理の節減効果	195	256
資源削減効果	78	104
省エネルギー効果	194	232
廃水処理実施効果	481	495
コジェネ熱回収効果	168	28
合計	1,116	1,115

(注) 燃料の高騰によりコジェネの経済効果は減少。

▶集計の基本となる事項

【対象範囲】

グンゼ株式会社、国内グループ会社30社および海外グループ会社18社

【対象期間】

2007年4月1日～2008年3月31日

【項目分類】

環境省「環境会計ガイドライン」に沿って分類・集計

【経済効果】

廃水処理実施効果とは、廃水処理設備を設置していることにより、下水道費が削減できた費用を計上。特定の環境対策を行わなかった場合、想定される賠償額などのリスク回避効果(みなし効果)は採用していない。



CO₂やVOCなどの排出削減に取り組み、地球環境保全と資源の有効利用に努めています。

CO₂排出量削減への取り組み

ガスコジェネ^{*1}など新設備の導入をはじめとして、省エネ活動を推進しています。

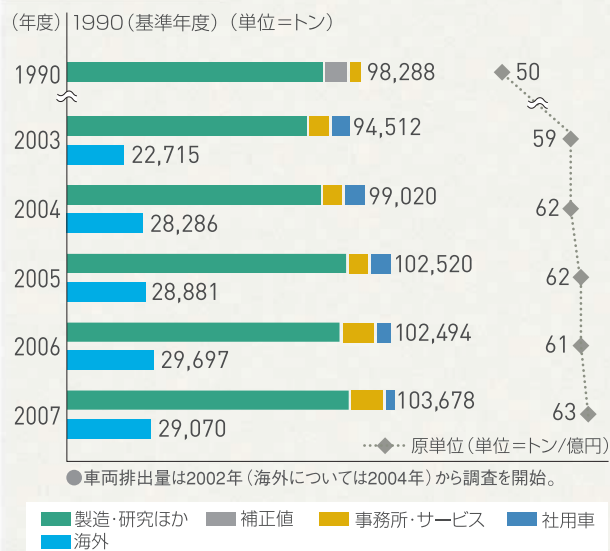
ガスコジェネ、高効率ボイラーの導入、インバータや省エネ機器を導入。ボイラーに使用する燃料重油から、CO₂排出量の少ない天然ガスへの転換を計画しています。

2007年度、生産部門はエネルギー多消費型事業において生産が増加しましたが、省エネ活動の効果により対前年微減。しかし、サービス(スポーツ)事業の店舗拡大等の影響が大きく、結果としてCO₂排出量は増加しました。



コジェネシステム[江南工場]

CO₂排出量の推移



TOPICS

オイルミストの除去と有効活用

編立工程等で生地に付着したオイルは生地の乾燥工程で、水蒸気とともに霧状になって排出されます(オイルミスト)。これを電気集塵機で回収し、シリコンオイルは、再生業者によって再生、再利用されています。



倉吉グンゼ(株)

運送会社とともに、原単位で年平均1%のCO₂削減に努めています。

製品や原材料の輸送は、運送会社に委託しておりますが、相互協力のもと輸送効率の向上や、エコドライブの推進、環境対応車の導入を図っています。

より効率的な運送のため、輸送距離の削減や積載率向上対策などを通じ、原単位で年平均1%を目標とするCO₂の削減に努めています。



バイオ燃料の利用を促進。

現在2事業所で食用油から再生したバイオ燃料を自社のトラック等に使用しています。工場から排出される食用油のほか、社宅へも呼びかけ、回収し再生しています。



宮津工場

VOC^{*2}削減のためにさまざまな努力をしています。

光化学スモッグの原因のひとつとして考えられる揮発性有機溶剤(VOC)の削減のため、有機溶剤の水への転換やスクラバー^{*3}の設置を進めています。更に、エンブラ事業部では回収した溶剤を再生し、自工程で再使用しています。今後は印刷などの乾燥工程から排出される溶剤の処理を進めます。



回収した溶剤の再生・再使用を実施 [エンブラ(事)綾部生産課]

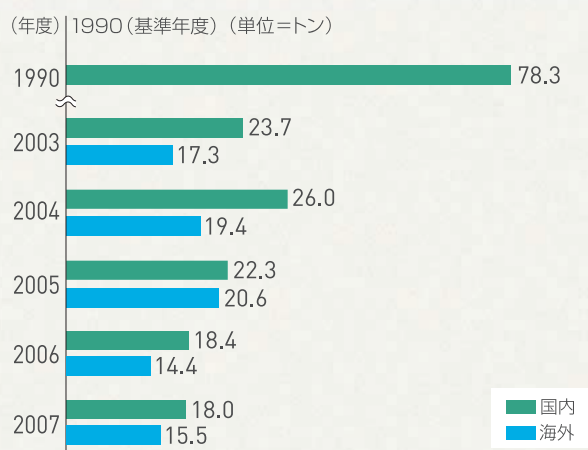
大気汚染防止に向けての取り組み

大気汚染物質の削減を図っています。

染色、乾燥や冷暖房に使用しているボイラーやコジェネ等の燃料は重油やガスを使用しており、燃焼時に硫黄酸化物(SO_x)や窒素酸化物(NO_x)を排出します。

SO_x削減のため、低硫黄の重油(硫黄分0.1%以下)やコジェネの燃料として環境負荷のより少ない都市ガスを使用。またNO_x削減のため、脱硝装置を設置しています。

硫黄酸化物(SO_x)排出量の推移



汚染賦課金^{*1}負担金額(ゲンゼグループ)

年度	2005年度	2006年度	2007年度
金額(万円)	15,418	14,293	13,717

2007年度のSO_x、NO_x測定結果

▶ボイラー

	ばいじん(g/m ³)	NO _x (ppm)	SO _x (k値)
規制値	0.25~0.3	180~230	8.76~17.0
測定結果	0.001~0.023	54~110	0.02~0.94

※地域により規制値が異なります。

▶コジェネシステム(ディーゼル)

	ばいじん(g/m ³)	NO _x (ppm)	SO _x (k値)
規制値	0.1	950	8.76
測定結果	0.001~0.03	12~770	0.10~0.44

※地域により規制値が異なります。

低公害車への切り替えを促進。 ハイブリッド車は10台に。

リース契約更新時、社用車を低公害車に切り替えています。

2007年度は三ツ星以上の車の比率が56%になりハイブリッド車は10台となりました。

低公害車^{*2}導入実績(2008年3月現在)

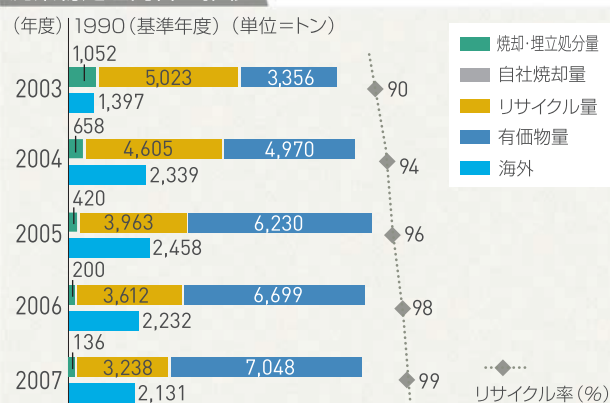
	総保有台数	未対応車	★良	★★優	★★★超	ハイブリッド車
台数	313	80	46	12	165	10
比率	100%	25%	15%	4%	53%	3%

廃棄物の有効利用と削減

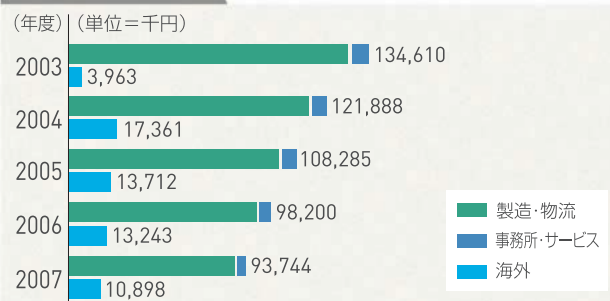
廃棄物の有効利用は対前年より0.6%改善し、 処理費用も削減しました。

2007年度の廃棄物の有効利用は全体で98.7%と、目標の99%にあと0.3%届きませんでした。対前年で0.6%改善しました。分別廃棄の徹底で、これまで焼却して熱回収利用(サーマルリサイクル)していたものが、原料として再利用(マテリアルリサイクル)できるようになりました。廃棄物が有価物となることで、処理費用が減少しました。

廃棄物処理内容の推移



廃棄物処分の費用



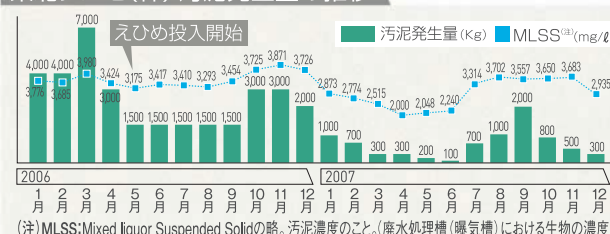
汚泥^{*3}の削減に努めています。

汚泥の削減は、環境浄化微生物「えひめ」^{*4}の導入と、汚泥の乾燥(自作の乾燥機)で、減量化を図っています。

	導入事業場
えひめ	久世工場、九州ゲンゼ(株)、東北ゲンゼ(株)、津山ゲンゼ(株)
汚泥の乾燥	梁瀬工場、本工場、九州ゲンゼ(株)、東北ゲンゼ(株)、倉吉ゲンゼ(株)

えひめ培養設備

東北ゲンゼ(株) 汚泥発生量の推移





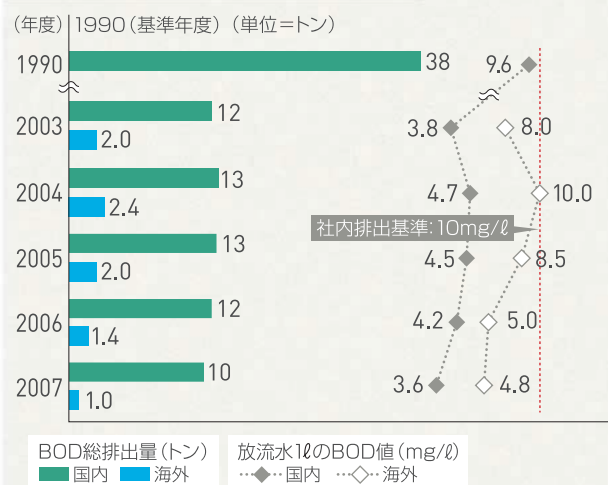
大切な水資源の保全に努めています。
また、PCBなどの化学物質の管理の徹底を図っています。

水質汚染防止

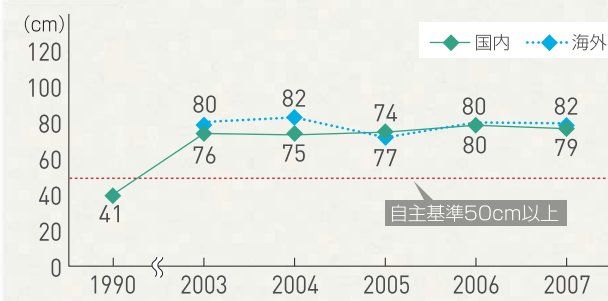
自主基準を設け、 廃水を厳しく管理しています。

グンゼの廃水は主に繊維加工による染色工程から出ています。これら廃水は、自社独自技術による処理設備を設置し、着色度^{※1}などの自主基準を設け、国内外を問わず、同一基準で厳しく管理しています。使用する水は、できるだけ元の状態で河川に戻し、「魚の住める水質」を目指しています。

BOD排出量と排水BOD濃度の推移



透視度^{※2}



水質管理基準と2007年度実績

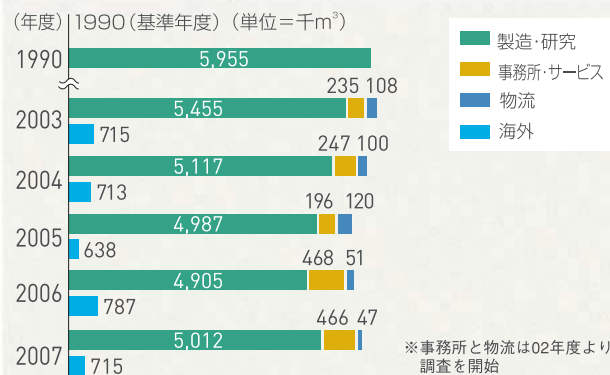
	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				国内	海外
BOD ^{※3}	mg/l	40~120	10以下	1~8 (3.6)	4~5 (5)
COD ^{※4}	mg/l	40~120	30以下	6~22 (13.8)	15~22 (18)
SS ^{※5}	mg/l	40~150	10以下	3~13 (7)	6~9 (8)
透視度	cm	なし	50以下	60~94 (78)	79~85 (82)
着色度	倍	なし	30以下	8~25 (17)	9~10 (10)

()内は平均値

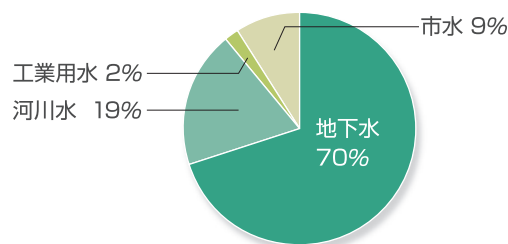
用水使用量削減の徹底を目指し、 今後も取り組みに努めます。

グンゼグループでは、全体使用量のうち、地下水が70%を占めています。冷却水の循環使用に加え、染色工程では、水や薬品を少量で加工可能な機械(パディング加工)に転換対応など、用水使用量の削減対策に努めています。しかし、染色比率の高まり(白物肌着からカラー物に増加)や、機能資材事業の生産増の影響により、用水使用量は対前年1.9%増加しました。

用水使用量の推移



2007年度の用水使用量の内訳



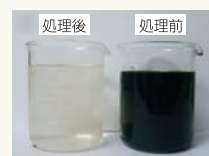
TOPICS

Thai Gunze Co.,Ltd.の取り組み

タイグンゼは工場設立当時から、廃水処理設備を設置し、日本と同じグンゼ独自の水質基準で、全員一丸となって環境負荷の低減に努めています。水の省資源化(使用原単位 対前年18%減)や、放流水質の向上(着色度10以下)により、タイ国内でも高レベルの廃水環境を維持しています。発生汚泥については、近隣の大学と協働で、再利用や燃料化など有効活用に向け検討しています。



廃水処理設備とスタッフ



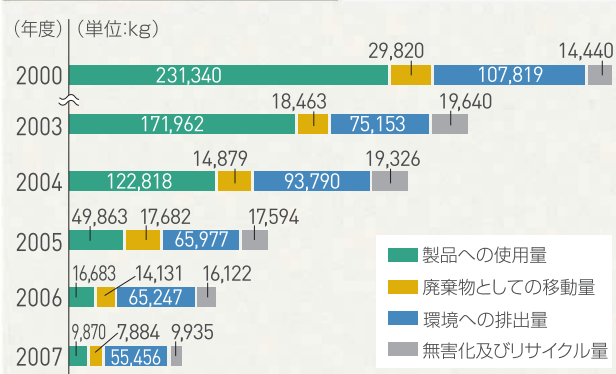
原水と処理水の比較

化学物質管理

PRTR※¹対象物質の総取扱量は、 画期的なスピードで減少しました。

PRTR対象物質の総取扱量は、代替品への転換が進み、当初の計画を大きく上回るスピードで減少を続けています。六価クロムなどの重金属の使用は順次中止しており、今後は残された鉛の全廃に努めます。

PRTR対象物質取扱と移動量



PCB使用機器は、 基準に従い、適正に管理しています。

PCB使用機器は、低濃度PCB混入機器※²も含め国の基準に従い適正に管理しています。高濃度PCB使用機器に関しては、日本環境安全事業（株）と協議し、2009年度以降の処理を予定しています。あわせて低濃度PCB混入機器については計画的に調査を進め、対応を図ります。



高濃度PCB入り機器の保管数と登録数（2008年3月現在）

機器名	総保管数	登録数	登録対象外数
コンデンサー（高圧）	195台	194台	1台
コンデンサー（低圧）	79台	12台	67台
その他（オイル、ウエス）	3缶	2缶	1缶
蛍光灯の安定器	1,353台	—	1,353台

低濃度PCB混入の可能性がある機器の調査状況（1989年以前に製造された機器）

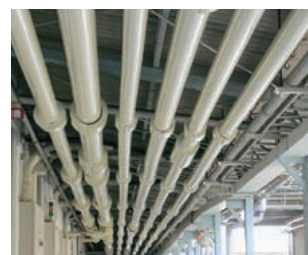
	調査対象数	調査完了数	PCB混入数	未調査数
トランス	412台	333台	115台	79台
コンデンサー	147台	20台	5台	127台
その他	37台	19台	3台	18台
合計	596台	372台	123台	224台

吹き付けアスベスト、保温材アスベストとも 計画的に撤去を進めています。

吹き付けアスベストは計画的に撤去を進めており、現在残っている箇所は既に囲い込みが終了。計画的に撤去を進めます。保温材やパッキン等、2002年以降新規使用は禁止しています。現存する保温材アスベストは計画的に撤去を進めています。



アスベスト除去前[宮津工場]



アスベスト除去後[宮津工場]

環境事故防止のための想定訓練

グンゼでは、環境マネジメントシステムに則り、環境月間等を利用して環境事故防止のため、定期的に設備などに不具合箇所がないかなどの管理・点検を徹底しています。また、万が一の突発事故や緊急事態に備え、策定している手順の確認と想定訓練を定期的に実施しています。



油の流出事故を想定した訓練
[東北グンゼ（株）]

環境事故

今年度は環境事故が2件発生。

2件とも大きな環境汚染事故にはあたりませんでした。日常的な基本管理、点検の徹底をはじめとする再発防止に努めます。

- 樹脂原料加工時、設備トラブルにより樹脂分解反応が進みガスが発生。ただちに水冷却で対応したため、環境および人への影響はありませんでした。
- 減速機のギヤオイル冷却水に油（約10ℓ）が混入し、河川に流出。ただちにオイルフェンスを設置し、油を回収。下流への流出を防止しました。

グンゼCSR報告書2008を見て —消費者の目から—



社団法人
日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会

常任理事
西日本支部長

三 沢 邦 子

「CSRへの取り組みのあり方と報告書の役割」

企業の社会的責任(CSR)は、どこにあるのだろうか。CSRは追求すべき理想ではなく、企業の創業の精神、社是、行動規範そのものを徹底し堅実に守ることがCSR経営につながる、と考えたい。しかし、急速に変化する現代社会にあつては、考え方の異なる若い世代、海外の従業員や顧客、消費者重視の世論の潮流、より厳しくなった環境への目、等々に柔軟に対応できる具体的なCSR活動が必要であろう。消費者対応はこれでよいのだろうか、環境基準はこの数値で大丈夫だろうかと常に振り返り、新しい基準や規範をどんどん取り入れて進化するCSR経営であってほしい。CSR報告書の役割には、いわゆる「報告」以外に、次の目標達成のための「動機づけ」がある。そのためにはむしろ正確な記述が必要だが、多くの人に読んでもらえるよう、魅力ある分かりやすいものであってほしい。またあれもこれもと網羅的ではなく、伝えたいものを重点的にアピールすること、そして次の行動を促す情報を提供することが必要であろう。企業内の「風通しのよさ」が企業CSR推進活動につながるというアンケート結果の記載は、読者に納得してもらいやすい企画であった。また、今年は「用語集」を最終ページにつけたが、これも分かりやすく読んでもらうための一助になっていると思う。

「CSR報告書をコミュニケーション手段に」

こうした役割を担うCSR報告書は、従業員のみならず、社内・社外のすべてのステークホルダーに読んでもらってこそのものである。そのためには誰もが簡単に手に入れられるようにしていただきたい。もちろんCSR報告書は、ホームページ上にも公開されているが、どれだけ読まれているのだろうか。積極的に配布するなど、読んでもらうための何らかの努力も必要だろう。さらに、読んでもらうだけではなくCSR報告書が消費者や他のステークホルダーとのコミュニケーション手段になるように、作成したあとの使用状況を十分に視野に入れて作っていただきたい。報告書を教材にして、消費者と企業が語りあうのはどうであろうか。要求や説明を越えた真のコミュニケーションの場が生まれることを期待したいものである。

「消費者被害や環境への配慮を」

グンゼは製品製造過程で水を多用する企業であるため環境への配慮は特にきめ細かくされていることが分かる。しかし現状での基準クリアに甘んじることなく、業界の一步先を歩む気概で常に新たな目標を設定してほしい。私たち消費者も企業や製品にあれこれと注文をつけ、そうした製品を進んで使っているという意味で、水や土壌の汚染の加害者でもある。また、アスベストの例を出すまでもなく、未知の原材料の登場や使用がどのような環境汚染や消費者被害をもたらすか分からないという意味で、環境への配慮には細心の注意が必要であろう。技術の進歩・専門化につれ、消費者と企業間の、製品についての知識の格差はますます広がるばかりである。私たち消費者は製品の実態を何も知らず分からず使っている。消費者への情報提供を迅速にして、CSR報告書を、企業と消費者の間の風通し(相互理解)をよくする手段として機能するものにしてほしい。

「CSR報告書にコンプライアンス情報も」

昨今の連続する不祥事を見ると、いったん起きた不祥事の信頼を取り返すのには、膨大なエネルギーを要している。また近年は、コンプライアンスの完成度が企業のCSRをはかる大きな指標にもなっている。企業倫理の遵守については十分な配慮がなされているかと思うが、企業内の価値観と社会の価値観との間には時として大きなズレがある。どのような行為が法令に抵触する可能性があるのか、消費者や社会が守ってほしい規範はなにか、といったコンプライアンス教育にグンゼはどのように取り組んでいるのか、CSRの重要な一部分として、コンプライアンスへの取り組みもCSR報告書に積極的に取り込んでいただきたい。また、内部通報制度の実際や危機管理・評判管理についても知りたいところである。

グンゼグループのCSRへの取り組みのあり方とCSR報告書の役割について、主要なステークホルダーである消費者の視点から、社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 西日本支部長三沢邦子さまよりご意見をいただきました。

いただきましたご意見については、真摯に受け止め、より一層わかりやすさを追究し、各ステークホルダーとの相互理解:「風通し」のための媒体、「グンゼCSR報告書」を目指し、CSR推進活動に活かしてまいります。

創 業 明治29年(1896年)8月10日
代 表 者 代表取締役社長 平田 弘
資 本 金 26,071百万円
従 業 員 数 2,313名(単体)
8,470名(連結合計)
上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

事 業 所 **本 店**
〒623-8511
京都府綾部市青野町膳所1番地
TEL (0773) 42-3181 FAX (0773) 42-3193
大阪本社
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目8番17号大阪第一生命ビル
TEL (06) 6348-1313 FAX (06) 6348-4815
東京支社
〒103-0027
東京都中央区日本橋2丁目10番4号
グンゼ日本橋ビル
TEL (03) 3276-8710 FAX (03) 3276-8729

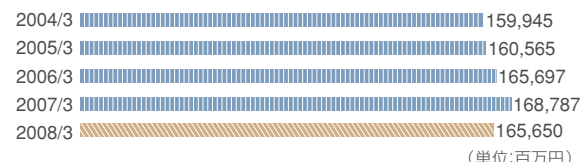
関 係 会 社 (連結対象会社)
▶ **アパレル事業**
東北グンゼ(株)、出雲アパレル(有)
福知山アパレル(有)、公冠グンゼ(株)
Gunze (Vietnam) Co.,Ltd.、Thai Gunze Co.,Ltd.
済南冠世時装有限公司
倉吉グンゼ(株)、大連坤姿時装有限公司
九州グンゼ(株)、兵庫グンゼ(株)
P.T.Gunze Socks Indonesia
加賀グンゼ(株)、津山グンゼ(株)、中央繊維資材(株)
P.T.Gunze Indonesia、上海郡是通虹繊維有限公司
(株)ルフラン、グンゼ物流(株)、(株)グンゼオフィスサービス

▶ **機能ソリューション事業**
福島プラスチック(株)
Gunze Plastics & Engineering Corporation of Europe N.V.
Gunze Plastics & Engineering Corporation of America
グンゼ包装システム(株)、上海郡是新包装有限公司
郡是高分子工業(株)、上海郡是高分子材料有限公司
上海郡是新塑材有限公司
エルマ(株)
Gunze Electorronics U.S.A. Corp.
GGI Technology Limited.
綾部エンブラ(株)

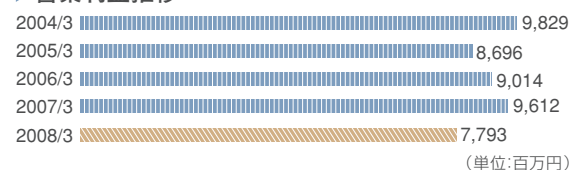
▶ **ライフクリエイト事業**
グンゼ開発(株)、(株)つかしんタウンクリエイト、
グンゼエンジニアリング(株)
グンゼグリーン(株)、グンゼスポーツ(株)

連結業績

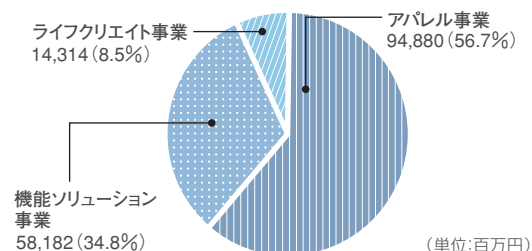
▶ 売上高推移



▶ 営業利益推移



▶ 事業セグメント別売上高



()は構成比を表す。
上記セグメント別売上高は、セグメント間で発生した売上高を調整する前の数値です。

▶ アパレル事業(消費財)

- メンズインナー、キッズインナー ● レディースインナー ● スtocking、ソックス
- ハウスカジュアル(ホームウェア、ナイトウェア)
- 繊維資材(工業用シシ系、産業資材)
- その他(婦人服、ベビーウェア、テキスタイル、絹織物)

▶ 機能ソリューション事業(生産財)

- プラスチックフィルム(ペットボトル用熱収縮ラベルなど)
- エンジニアリングプラスチック(複写機・プリンター等の部材)
- 電子部品(タッチパネルなど)
- メディカル材料(吸収性縫合糸、人工真皮、吸収性骨接合材など)
- メカトロ(印刷周辺省力機器など)

▶ ライフクリエイト事業(サービス等)

- フィットネスクラブの運営
- グリーン事業(樹木・花卉販売、屋上緑化など)
- 温浴(つかしん天然温泉「湯の華廊」) ● エステイト(不動産の賃貸など)
- エンジニアリング(省エネ事業など) ● デベロッパー(商業施設の運営)

こちらのページをめくっていただくと、
「パフォーマンスデータ集」と「用語集」を掲載しております。

- 便利な活用法……………「用語集」ページを開いたまま、他のページをお読みいただくと、用語の意味を確認しながら、読み進めていただけます。



P.10

DATA 部門CSR責任者会議の実施アンケートから(抜粋)

- ・職場の風通しについて、今まであまり気にすることがなかったため今回の講義をきっかけに自分なりに考え、自ら風をふかすよう努めたい。
- ・CSRアンケートについては日々の業務に追われ自分なりに理解し切れていない点が多く、具体的な改善にいたっていない。役立つデータだけに、今後役立てたい。
- ・会社の方針などを部下に伝えるとき、「わたしはこう考えている」ということに力点を入れすぎていたと思う。部下が「何を考えているのか」をもっと考えて「望み」の共有をしていきたい。
- ・職場の風通し改善について、具体的な対応が実感できたことは大きな収穫だった。職場で実際に活かしたいと思う。
- ・アンケートに記載されているデータは部門内で必ずフィードバックする。職場の風通しをよくすることはあらためて大切であると実感した。自戒の意味も含めて今後の自分のありかたを見直したい。
- ・記憶に残る言葉の提供に心がけたい。
- ・組織のあるべき姿、組織の歴史、個人の役割について各従業員に確実に伝えることの大切さを痛感。朝礼の場などで繰り返し伝えるよう努力する。

P.14

DATA 中央ハラスメント相談窓口に寄せられた相談内容の内訳

(1) なんでも相談

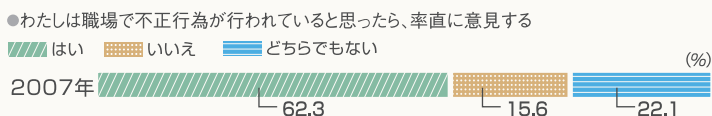
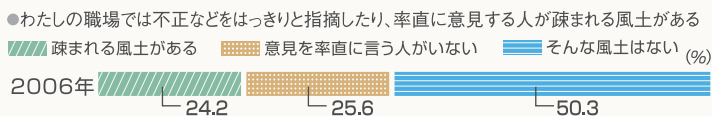
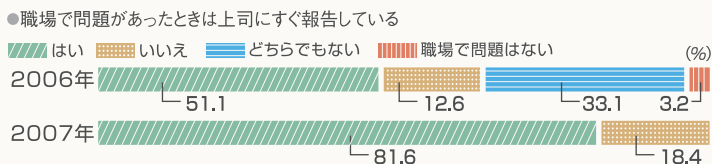
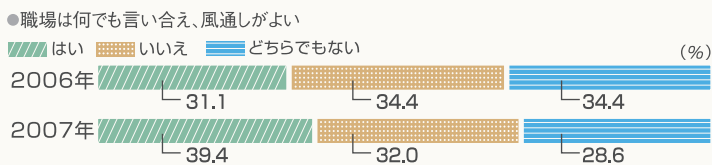
相談項目	会社窓口		組合窓口
	綾部	大阪	
人間関係	—	15	5
メンタルヘルス問題	1	14	—
パワーハラスメント	1	2	—
喫煙マナー	2	—	—
その他	—	20	3
合計	4件	51件	8件

(2) セクシュアル・ハラスメント相談

会社窓口	大阪	5件
------	----	----

P.16

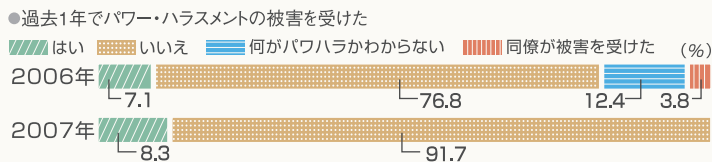
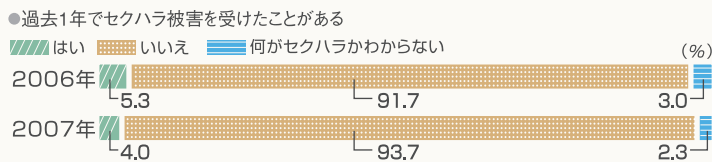
DATA 1 CSRアンケート結果:前年比較①



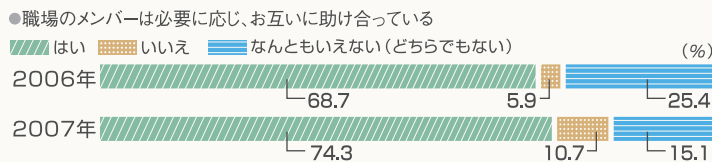
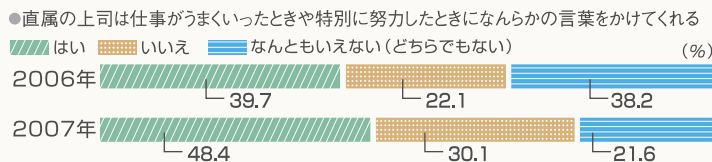
DATA 2 実際にハラスメント相談にいたるケース

- ・上記のP14 DATAをご参照ください

DATA3 CSRアンケート結果:前年比較②



DATA4 CSRアンケート結果:前年比較③



P.20

DATA1

休業をとまう労働災害・交通災害発生状況

	労働災害	交通災害
2006年3月31日現在	12	1
2007年3月31日現在	8	0
2008年3月31日現在	7	3

DATA2

「心の電話相談室」における相談実績

	電話相談	心の相談
2006年3月31日現在	72件	16件
2007年3月31日現在	42件	4件
2008年3月31日現在	69件	10件

P.23

DATA グンゼラブアース倶楽部支援先一覧

会員による支援要請があり、決定した支援先 3団体

分野	支援先団体
植林活動をする団体	NPO法人 ヒマラヤ保全協会 http://www.ihc-japan.org/
子どものための環境教育をする団体	NPO法人 こども環境活動支援協会 http://www.leaf.or.jp/
闘病生活を送る子どもの支援団体	病気と子どもネット・京都 http://www.npo-net.or.jp/kodomonet/

会員からのアンケート結果から決定した支援先 17団体

分野	支援先団体
a.地球温暖化防止のための活動支援団体	NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会 http://www.shu.or.jp/Home/Top.html 綾部市環境市民会議 http://www.ayabe-eco.net/keihatu.php
b.植林活動をする団体	NPO法人 緑の地球ネットワーク(GEN) http://homepage3.nifty.com/gentree/ NPO法人 瀬戸内オリーブ基金 http://www.teshima.ne.jp/olive_kikin.htm
c.子どものための環境教育	NPO法人 びわこ豊穰の郷 http://www.lake-biwa.net/akanoi/
d.障がい者の自立支援団体	NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 http://www.son.or.jp/
e.闘病生活を送る子どもの支援団体	NPO法人 日本クリニックラウン協会 http://www.cliniclowns.jp/ (財)がんの子供を守る会 http://www.ccaj-found.or.jp/
f.補助犬の育成指導のための団体	NPO法人 日本補助犬協会 http://www.hojyoken.com/
g.その他	NPO法人 国境なき医師団 NPO法人 国境なき子どもたち http://www.knk.or.jp/japan/kenk/kenk.htm NGO セーブ・ザ・チルドレン http://www.savechildren.or.jp/ NPO法人 JEN http://www.jen-npo.org/ NPO法人 日本白血病研究基金を育てる会 http://www.flrf.gr.jp/ NPO法人 NPO人権センター http://www.geocities.jp/humanrights1998/index.html あしなが育英会、あしながレインボーハウス http://www.ashinaga.org/index.php NPO法人 国際連合世界食糧計画WFP協会 http://www.jawfp.org/

P.11

※1 三つの麒麟

●あいさつをする

あいさつは、相手の人格を認め尊重することです。
あいさつは思いやりの心であり、感謝の気持ちをあらわします。
あいさつは、相手と心を通わせ、よりよい人間関係を築く
第一歩です。
あたたかい言葉と笑顔は、心をなごませ、喜びを感じさせます。

●はきものをそろえる

そろっていることは、美しいと感じる心です。
そろえるとは、小さなこともおろそかにしない誠実さです。
そろえてあるはきものははきやすい。
先々のことを考える気配りです。
乱れを正すことは、気持ちを引き締め、自らを律する心がけです。

●そうじをする

そうじをすることは、正しさ、美しさ、すがすがしさを愛することです。
そうじをすることは、働くことの楽しさ、仕事を愛する心を養います。
そうじをすることは、物事のけじめをつけることです。
そうじをすることによって、人にこころよさと喜びを与えます。

P.13

※1 コージェネ

コージェネレーションシステムのこと。「Co(共同)のエネルギーをGeneration(発生)」させるシステム。発電時に原動機から発生する排熱を回収して、冷暖房や給湯、蒸気などの用途に有効利用することで省エネを可能にし、CO₂排出量の削減を実現。

P.15

※1 ITセキュリティ運用組織

〈ITセキュリティ委員会〉
セキュリティマネジメント体制を整えるための審議・決定機関

●事務局

委員会で決定した事項を推進する事務局

〈各事業部門推進組織〉

●DIO

各事業所における推進組織内のITセキュリティの最高責任者
推進組織内のITセキュリティに関する事項は、
DIOの責任の下で策定・実施

●推進リーダー

部門内におけるITセキュリティを推進する

〈事業部門別セキュリティ委員会〉

各事業部門での対応を推進
(構成員教育、内部監査、入退出管理等)
DIO、推進リーダー、各部門の所属長にて構成

P.17

※1 CRM

CRMとは、Customer Relationship Management の略。
情報システムを活用し、消費者の生の声を長期的、継続的に
事業活動に活かすための活動のこと。

P.19

※1 3つの「SHINKA」

グンゼの中期経営計画「SHINKA 3S」
詳細は、P3「トップメッセージ グンゼグループのCSR」を参照

※2 人材

グンゼでは、人材＝財産であると考え、社内では「人材」を用
いています。

P.20

※1 安全衛生方針:主な活動項目

- ・安全衛生諸法令の遵守および必要な自主規程の制定
- ・計画的、継続的な安全衛生管理活動の推進
- ・潜在的な危険の抽出と改善の推進
- ・メンタルヘルス対策、生活習慣病対策の推進
- ・大規模自然災害対策の推進

P.21

※1 サプライヤー

サプライヤーとは、製品、原材料の調達先を指します。

※2 サプライヤー行動規範

- この「サプライヤー行動規範」は国連グローバルコンパクト、ILO条約、経団連企業行動憲章を参照している。
- この「サプライヤー行動規範」はグンゼ及びグンゼグループの国内外の関係会社及びサプライヤー各位に適用される。
- グンゼHP
URL:<http://www.gunze.co.jp/CSR/supplier/supplier.html>

P.22

※1 SRI

Socially Responsible Investment
(社会的責任投資)の略。

※2 FTSE4Good インデックス

英国の金融新聞社であるFinancial Times社とロンドン証券取引所の合併会社であるFTSE社が2004年より実施しているSRIファンド。

P.25

※1 環境に優れた製品

環境への負荷を軽減する製品・サービス及びその事業活動全般を言います。

P.29

※1 コージェネ

上記のP13の※1をご参照ください。

※2 VOC

光化学スモッグの原因のひとつと考えられる揮発性有機溶剤のこと。

※3 スクラパー

排ガスを大気に出さないために水などで溶解させて処理する装置。

P.30

※1 汚染賦課金

燃料に使用している重油から排出される硫黄酸化物(SO_x)の量に比例して支払うもので、公害健康被害者の救済に使用される。

※2 低公害認定自動車

- ☆:NO_x、HCを25%以上低減
- ☆☆:NO_x、HCを50%低減
- ☆☆☆:NO_x、HCを75%以上低減
- ・HC:未燃炭化水素
- ・基準値:2000年排出ガス規制値

※3 汚泥

廃水処理(活性汚泥・凝集沈殿等)後に排出される泥状の廃棄物。

※4 環境浄化微生物「えひめ」

愛媛県工業技術開発センターで開発された環境浄化微生物。イースト菌、乳酸菌、納豆菌を、糖蜜で発酵させている。

P.31

※1 着色度

グンゼ独自の指標。処理水を水道水で希釈して30cmの透視度計に入れ、水道水と比較して同じように見えたときの希釈倍率。数字が小さいほど、色が薄いことを示す。

※2 透視度

人が目視で確認できる透明度(水中での視認距離)で、cmで表示。

※3 BOD

(Biochemical Oxygen Demand:生物化学的酸素要求量)
微生物が水中の有機物を酸化分解する際に使用する酸素の量。主に河川の汚濁指標として使用。

※4 COD

(Chemical Oxygen Demand:化学的酸素要求量)
水中の汚濁物質が化学的に酸化するときに必要な酸素の量。主に海域や湖沼の汚濁指標として使用。

※5 SS

(Suspended Solids:浮遊物)
放流水1ℓ中に含まれる浮遊固体物質の量(mg/ℓ)。

P.32

※1 PRTR

Pollutant Release and Transfer Registerの略。
化学物質の排出量等を把握する仕組み。

※2 低濃度PCB混入の可能性のある機器

1989年以前に製造された絶縁油を使用している機器は微量のPCBが混入している可能性があるため、調査が義務づけられている。

●グンゼグループの対応

2004年度より低濃度PCB混入の可能性のある機器の調査を行っている。2006年3月時点で589台中296台の調査が完了し、75台に低濃度PCB混入を確認。
PCB機器と同様、適正に管理するとともに未調査機器についても計画的に実施。